

これは WSL RULE BOOK 2022 年 8 月 31 日付の更新版をもとに、
必要と思われる章のみを抜粋、翻訳した WSL RULE BOOK の日本語版
です。

この日本語版は WSL による公式の翻訳ではなく、あくまで日本人選手や
関係者の利便性をはかるための日本語版であり、英語版と日本語版で
内容に違いのある場合は、英語版を正しいものとします。

疑問等のある場合は必ず英語版を参照して下さい。

皆さんの力をお借りして、より正確なものに更新していけるよう、誤訳の
ご指摘や、その他お気づきの点がございましたら下記アドレスまでご連
絡ください。

> qs.surfingjapan@gmail.com <<mailto:qs.surfingjapan@gmail.com>>

翻訳 / 水垣糸子

校正、編集 / つのだゆき

目次

2 章： クオリファイシリーズとチャレンジャーシリーズ

2.01	ライセンス料	6
2.02	イベントのアップグレード／ダウングレード	6
2.03	イベントキャンセル	6
2.04	イベント内容の変更	7
2.05	賞金に関する課税	7
2.06	賞金	7
2.07	スケジュール	8
2.08	フォーマット	8
2.09	QS／チャレンジャーシリーズ大会におけるトライアルとその他のイベント	13
2.10	QS／チャレンジャーシリーズランキングのポイントとリージョンランキング	15
2.11	資格を取るためにカウントされるイベント数	16
2.12	負傷又は妊娠によるランキング調整	16
2.13	QS／チャレンジャーシリーズ料金	16
2.14	エントリー費	18
2.15	イベント登録とエントリー手続き	18
2.16	会員資格おける所属リージョン確定要件	19
2.17	エントリー確認	21
2.18	エントリーキャンセル、払い戻し、診断書	22
2.19	エントリーの選考順位	22
2.20	QS シードポイント	25
2.21	QS シードオーダー	26
2.22	QS／チャレンジャーシリーズイベントのディフェンディングチャンピオン	27
2.23	リプレイスメント	27
2.24	選手の失格	28
2.25	妊娠	28
2.26	脳震盪	29
2.27	エントリー後の QS／チャレンジャーシリーズ大会の不参加について	29
2.28	選手によるメディアへの義務	29
2.29	WSL イベントに関する一般ルール	30
2.30	最低年齢	30

5章 ジュニアツアールール

5.01	年齢	31
5.02	選手料金および保険	31
5.03	エントリールール	31
	ワールドジュニアチャンピオンシップ(WJC)	
5.04	ワールドジュニアチャンピオンシップ賞金配分	31
5.05	世界ジュニアランキング	31
5.06	スケジューリング	31
5.07	世界ジュニアン主権大会の翌年の出場資格	32
5.08	WJC シード順	32
5.09	世界ジュニア選手権フォーマット	32
5.10	翌年の／チャレンジャーシリーズ大会への出場資格	33
	ジュニアクオリフィケーションシリーズ(JQS)	
5.11	JQS 大会賞金とポイント	33
5.12	JQS ランキングポイント	33
5.13	エントリーの選考方法	33
5.14	JQS シード順位	33
5.15	JQS ランキング	33

10章 競技ルール

10.01 「コール」	34
10.02 ヒート時間	35
10.03 ヒート開始と終了	36
10.04 ヒートの中断	37
10.05 集計	38
10.06 同点	38
10.07 プロテスト(抗議)	39
10.08 アナウンス	39
10.09 選手キャディー規定	40
10.10 電子コーチング	41
10.11 承認された用具	41
10.12 競技の不履行	42
10.13 競技の服装	42
10.14 追加のイベントの義務	42
10.15 水中カメラマン	43
10.16 ダブルバンク	44
10.17 CT 以外の大会における時間延長	44
10.18 CT 以外の大会のキャンセル又は延期(不可効力又は競技用波不足の場合)	44
10.19 CT 以外の大会による不可抗力または競技用の波不足のためによる大会 キャンセルまたは延期	44
10.20 大会における選手の死亡または身体障害	45

11章 プライオリティ&インターフェアランス

11.01 プライオリティ&インターフェアランスルールの適用	46
11.02 オーバーラッピングヒート	46
ノンプライオリティルール	47
11.03 ノンプライオリティ状況での優先権	47
11.04 ポイントブレイク	47
11.05 リーフ又はビーチブレイク - ワンピークの場合	47
11.06 リーフまたはビーチブレイク - マルチピークの場合	47
11.07 ”スネーキング”	48
11.08 パドリングインターフェアランス	48
プライオリティルール	49

11.09	プライオリティシステムを使った優先権について	49
11.10	一般的な優先順位	50
11.11	ノンプライオリティでの「ブロッキングルール」	50
11.12	ノンプライオリティでの過度なハスリング	51
11.13	プライオリティ下での「ブロッキングルール」	51
11.14	2人ヒートプライオリティ	52
11.15	3人ヒートプライオリティ	53
11.16	4人ヒートプライオリティ	54
11.17	インターフェアランスペナルティ	54
11.18	プライオリティ状況下での過度なハスリング	56
11.19	プライオリティの使用	56
11.20	重大なスポーツマンシップに反するインターフェアランス	56
11.21	未承認の交通手段の使用	56

13章:ジャッジング

13.01	ジャッジの選定	58
13.02	ジャッジパネルの構成	58
13.03	スプリットパネル	59
13.04	ウェーブスコアリングスケール	59
13.05	審査基準	59
13.06	一般的なジャッジングルール	60
13.07	ジャッジ料	61
13.08	大会以外のイベントのジャッジ	61
13.09	WSL コンピュータスコアリングシステム	61
13.10	WSL ジャッジングエリア	61

14章:行動規定

14.01	はじめに	61
14.02	スポーツマンらしい行動	62
14.03	追加の行動規定	62
14.04	サーフィンのイメージの損壊	63
14.05	公式 WSL 備品とサーフボード	63
14.06	ギャンブル、不適切な金銭的利益又は関係、および贈収賄	64

14.07	ベストエフォート	65
14.08	言葉による攻撃	65
14.09	身体的暴行及び相互戦闘	66
14.10	差別、セクシャルハラスメント、または虐待	66
14.11	その他の違反と罰則	67
14.12	大会中の失格	70
14.13	罰金	71
14.14	違反の審査と罰則の適用	71
14.15	WSL 規律ディレクターによる懲戒処分への不服申し立て	72
付録 A	メンズ&ウィメンズ CT 賞金分配方法	74
付録 B	ランキングポイント	76
	メンズ	76
	ウィメンズ	81
付録 C	QS&チャレンジャーシリーズ大会賞金	82
付録 D	用語解説	87 - 99

第 2 章:クオリファイシリーズとチャレンジャーシリーズ

この章は、WSL QS とチャレンジャーシリーズのすべての大会に参加する選手、ライセンスに適用される。

2.01 ライセンス料

- (a) QS 大会およびチャレンジャーシリーズ大会のライセンス料は、QS 大会およびチャレンジャーシリーズ大会のライセンスリージョンオフィスが決定する。
- (b) 前年の 9 月 30 日までに、すべてのイベントライセンスは、イベントの日程を提案し、WSL イベントライセンス契約書に署名することで、そのイベントを開催することを確定する。
- (c) すべてのイベントにおいて、ライセンス料の 50%は大会開始の 180 日前にライセンスリージョンオフィスに支払われなければならない。残額は、イベント開始日の 90 日前に支払われなければならない。新規イベントについては、WSL スケジュールに掲載されるためにはライセンス料の 100%を支払う必要がある。
- (d) 上記の各期限までにライセンス料が支払われない場合、イベントは直ちに WSL スケジュールから削除され、この日程は他の試合で利用可能となる。イベントライセンスは全ライセンス料の 2 倍の金額を、リージョンオフィスに支払うことで、そのイベントのライセンスを再度要求できる。

2.02 イベントのアップグレード/ダウングレード

- (a) イベントライセンスがそのイベントのレイティングステータスをアップグレードしたい場合は、以下の通り。アップグレードは、少なくとも 45 日前迄にリージョンオフィスに通知する必要がある。ツアー & コンペティションオフィスが すべてのアップグレードに対して最終的な承認を与える。
- (b) イベントライセンスが、そのイベントのレイティングステータスをダウングレードしたい場合は、以下の通り。ダウングレードは、少なくとも 90 日前迄にリージョンオフィスに通知する必要がある。これを怠った場合、ダウングレード後のイベントのライセンス料と同額が罰金として課される。

2.03 イベントのキャンセル

イベントライセンスによってイベントがキャンセルされた場合、キャンセルされる前に支払われたライセンス料は払い戻ししない。その上で賞金総額の 10%に相当する罰金が WSL によって課され、罰金がイベント開始予定日

の 90 日前迄に支払われなければ、そのイベントはスケジュールに再び掲載されることはない。

2.04 イベント内容の変更

イベントライセンサーが、予定されているイベントの日付や場所を、イベント開始日の 60 日前までに変更したい場合、イベントの賞金総額の 50%を WSL に支払う。これは払い戻し不可で、大会が行われた時の賞金として使用される。もしもそのシーズンにイベントが開催されない場合は WSL に支払われた賞金は没収となる。この支払いは WSL からの日程変更確認後、7 日以内に行う。イベントの場所・日程が変更になった場合、イベントライセンサーは、日程の変更に伴う選手または WSL が負担したすべての費用を補償する。これには、払い戻し不可の宿泊費、旅費、その他の費用などが含まれる。

2.05 賞金に関する課税

- (a) 賞金から税金が差し引かれる場合、イベントライセンサーは、各選手にその控除の詳細を記した書類と還付のために該当する書式を添付した書類を提供しなければならない。その大会の行われるリージョンオフィスは、イベントライセンサーにこの要件を速やかに通知し、地元の税務署から支払われた者の名前と税額の領収書のコピーを受け取る必要がある。
- (b) イベントライセンサーが大会終了後 3 ヶ月以内に本規則を守らない場合、WSL に速やかに説明を行い、関連する税法に従わなければならない。イベントライセンサーは、このことによって起こりうる選手に対する補償に関する WSL からの要求に応じなくてはならない。
- (c) 税金控除額は、最低賞金額を維持するために賞金額に加算されてはならない。

2.06 賞金

- (a) 新規イベントにおいては、そのレーティングのイベントのための賞金総額に相当する現金をイベント開始日の少なくとも 90 日前までにリージョンオフィスに支払わなければならない。これを支払わない場合、イベントはキャンセルされ、ライセンス料は没収される。イベントがイベント開始日の 90 日以内にキャンセルされた場合、この現金とライセンス料は没収され、選手とライセンスリージョンに、このことで発生した経費を相殺するために使用する。

- (b) QS シリーズ及びチャレンジャーシリーズイベントにおいて、最低賞金額に関しては付録 C に記載。
- (c) 外国人選手の QS 及びチャレンジャーシリーズイベントの賞金については、銀行振込または USドルの現金で支払わなければならない。開催国の選手には小切手または現地通貨による現金で支払われることがあるが、これらは支払日の米ドル買いレートにて計算される。
- (d) ルールブックに規定される賞金に関するすべての変更は、WSL によって承認されなければならない。
- (e) 銀行振込以外の方法で支払うすべての現地払いの賞金は、その選手が大会で負けた日の終了時までには支払われなくてはならない。
銀行振り込みの場合は、イベントライセンサーに選手が銀行口座情報を提供している場合、大会期間終了時から 7 日以内に支払いを行う。大会終了後 7 日以内に銀行口座情報の提供をしなかった選手の賞金は、ライセンサーシーズンオフィスによって没収される。
- (f) すべての賞金の支払いは、関連するイベントライセンス契約に従って、イベント終了後 7 日以内に、イベントライセンサーから選手に直接支払われるものとする。
- (g) 賞金の支払いが遅れた場合、のちのイベント開催に関しての重大な悪影響を及ぼすことになる。WSL はイベントライセンサーに対して要求する権利を放棄することはない。
- (h) すべての選手は大会から去る前に、リクエストされた書類に署名するか、身分証明書のコピー(パスポートまたは有効な運転免許証)を提出する必要がある。これを怠った場合、賞金は受け取れない場合がある。
イベントライセンサーは、この書類を受け取るために、大会開始時間から終了 30 分後まで、人員を配置しなければならない。選手が書類を提出しなかったり、記入しなかったりした場合、必要な書類をイベント終了日から 7 日以内に提出しなければ、賞金は没収となる。

2.07 スケジュール

- (a) WSL は、各イベントが希望する日程を確定するために最大限の努力をする。しかしながら、将来のツアーの成長と他の試合との競合等で、日程の再スケジュールを示唆する可能性がある。イベント日程を指定する最終的な裁量権は、WSL が持つ。
- (b) 規則 2.01(d)およびWSLによるその他の規則を遵守したイベントのみが、その開催日を WSL の判断により、WSL スケジュールに掲載する。
- (c) QS とチャレンジャーシリーズ大会のスケジュールリング:

- (i) QS5000 大会は、年間を通じていつでも開催することができる。
すでに予定されている QS または CT と同時期に開催することが可能。
- (ii) チャレンジャーシリーズ大会は、ツアー&コンペティションオフィスが決定するチャレンジャーシリーズのシーズン内でのみ行われ、CT イベントや他のチャレンジャーシリーズ大会と同じ日程で開催することはできない。
- (d) すべての WSL イベントの日程は、常に WSL の独自の裁量で変更される可能性がある。それらは WSL のスケジュールで確認することができる。
選手がイベント開始日から 30 日以内の WSL のスケジュール変更に関連して費用を負担する場合、ツアー&コンペティションオフィスは、イベントライセンスに対して、選手の費用の支払いを求める申請を検討する。

2.08 フォーマット

全ての男子チャレンジャーシリーズには、以下の競技形式が適用される(ただし、ハワイの男子チャレンジャーシリーズはフォーマット A2 を使用する)。

フォーマット A			
	ヒート数	時間	シード位置
ラウンド 96	4 人 X 24	30 分	96 シード
ラウンド 48	4 人 X 12	30 分	
ラウンド 24	3 人 X 8	30 分	
ラウンド 16	2 人 X 8	30 分	
クォーターファイナル	2 人 X 4	30 分	
セミファイナル	2 人 X 2	30 分	
ファイナル	2 人 X 1	35 分を推奨するが ヘッドジャッジが決定	
トータル	59 ヒート	29 時間 35 分	

フォーマット A2			
	ヒート数	時間	シード位置
ラウンド 80	4 人 X 8	28 分	32 シード
ラウンド 64	4 人 X 16	30 分	48 シード
ラウンド 32	4 人 X 8	30 分	
クォーターファイナル	4 人 X 4	30 分	
セミファイナル	4 人 X 2	30 分	

ファイナル	4人 X 1	35分を推奨するが ヘッドジャッジが決定	
トータル	39ヒート	19時間 19分	

以下のフォーマットはすべてのメンズ QS 大会に適用する。

(a) メンズ QS5000

フォーマット B			
	ヒート数	時間	シード位置
ラウンド 160	4人 X 16	25分	64シード
ラウンド 128	4人 X 16	25分	32シード
ラウンド 96	4人 X 16	25分	32シード
ラウンド 64	4人 X 16	25分	32シード
ラウンド 32	4人 X 8	25分	
ラウンド 16	2人 X 8	25分	
クォーターファイナル	2人 X 4	25分	
セミファイナル	2人 X 2	25分	
ファイナル	2人 X 1	35分を推奨するが ヘッドジャッジが決定	

複数試合の同時開催イベントにおいて、またはサーフコンディションが悪いため時間に問題のある場合は、ラウンド 16 を 4 人ヒートとして行うことができる。

複数試合の同時開催イベントにおいて、ラウンド 160 はサーフィンディレクター、WSL ツアーディレクター、ヘッドジャッジによる決定で 20 分ヒートにしてもよい。

(b) メンズ QS1000, QS3000

フォーマット C			
	ヒート数	時間	シード位置
ラウンド 160	4人 X 16	25分	64シード
ラウンド 128	4人 X 16	25分	32シード
ラウンド 96	4人 X 16	25分	32シード
ラウンド 64	4人 X 16	25分	32シード
ラウンド 32	4人 X 8	25分	

ラウンド 16	2 人 X 8	25 分	
クォーターファイナル	2 人 X 4	25 分	
セミファイナル	2 人 X 2	25 分	
ファイナル	2 人 X 1	35 分を推奨するが ヘッドジャッジが決定	
トータル	83 ヒート	33 時間 20 分	

QS1000-3000 の大会で、時間に余裕がある場合はフォーマットCのヒート時間は 25 分に増やすべきである。

全ての女子チャレンジャーシリーズには、以下の競技形式が適用される(ただし、ハワイの女子チャレンジャーシリーズはフォーマット D2 を使用する)。

フォーマット D			
	ヒート数	時間	シード位置
ラウンド 64	4 人 X 16	30 分	64 シード
ラウンド 32	4 人 X 8	30 分	
ラウンド 16	2 人 X 8	30 分	
クォーターファイナル	2 人 X 4	30 分	
セミファイナル	2 人 X 2	30 分	
ファイナル	2 人 X 1	35 分を推奨するが ヘッドジャッジが決定	
トータル	39 ヒート	19 時間 35 分	

フォーマット D2			
	ヒート数	時間	シード位置
ラウンド 48	4 人 X 8	28 分	32 シード
ラウンド 32	4 人 X 8	30 分	16 シード
クォーターファイナル	4 人 X 4	30 分	
セミファイナル	4 人 X 2	30 分	
ファイナル	4 人 X 1	35 分を推奨するが ヘッドジャッジが決定	

トータル	23 ヒート	11 時間 19 分	
------	--------	------------	--

次のフォーマットはすべてのウィメンズの QS 大会に適用する。

(a) ウィメンズ QS5000

フォーマット E			
	ヒート数	時間	シード位置
ラウンド 72	4 人 X 4	25 分	16 シード
ラウンド 64	4 人 X 16	25 分	56 シード
ラウンド 32	4 人 X 8	25 分	
ラウンド 16	2 人 X 8	25 分	
クォーターファイナル	2 人 X 4	25 分	
セミファイナル	2 人 X 2	25 分	
ファイナル	2 人 X 1	35 分を推奨するが ヘッドジャッジが決定	
トータル	43 ヒート	18 時間 5 分	

複数試合の同時開催イベントにおいて、またはサーフコンディションが悪いため時間に問題のある場合は、ラウンド 16 を 4 人ヒートとして行うことができる。

複数試合の同時開催イベントにおいて、ラウンド 72 はサーフィンディレクター、WSL ツアーディレクター、ヘッドジャッジによる決定で 20 分ヒートにしてもよい。

(a) ウィメンズ QS1000-3000

フォーマット F			
	ヒート数	時間	シード位置
ラウンド 64	4 人 X 8	20 分	32 シード
ラウンド 48	4 人 X 8	20 分	16 シード
ラウンド 32	4 人 X 8	20 分	16 シード
ラウンド 16	4 人 X 4	20 分	
クォーターファイナル	2 人 X 4	20 分	
セミファイナル	2 人 X 2	25 分	
ファイナル	2 人 X 1	30 分	

トータル	35 ヒート	12 時間	
------	--------	-------	--

QS1000-3000 の大会で、時間に余裕がある場合はフォーマット F のヒート時間は 25 分に増やすべきである。

全ての QS1000-5000 大会と、LQS と JQS メンズとウィメンズの大会において、選手が残り 8 人になったとき(クォーターファイナル以降)は 2 人ヒートとする。4 人ヒートで行う場合はツアー&コンペティションオフィスから承認を得た場合のみとする。

QS シリーズ、チャレンジャーシリーズのヒート順は、選手の事情にかかわらず、変更しない。試合間隔が短いなどの理由により、多くの選手のボードが到着していないような場合は、サーフィンディレクター、選手代表、そして WSL ツアー代表がケースバイケースで例外的な変更を適用するかどうかを判断する。

メンズの QS とチャレンジャーシリーズ大会について

- (a) QS1000—QS3000 大会は、96 名以上の選手が参加できるようにし、フォーマット C を使用、3 日間以上の日程で行う。
- (b) QS5000 大会は、128 名以上の選手が参加できるようにし、フォーマット B を使用、5 日間以上の日程で行う。
- (c) チャレンジャーシリーズは、96 名の選手が参加できるようにし、フォーマット A を使用、6 日間以上の日程で行う。(可能な場合 7 日間)
しかしながら、地域の規制が適用される場合、WSL の承認によりフォーマット A2 を使用して 4 人ヒートで行う。

ウィメンズの QS とチャレンジャーシリーズ大会について

- (a) QS1000—QS3000 大会は、48 名以上の選手が参加できるようにし、フォーマット F を使用して行う。
- (b) QS5000 イベントは、72 名以上の選手が参加できるようにし、フォーマット E を使用、3 日間以上の日程で行う。
- (c) チャレンジャーシリーズは、64 名の選手が参加できるようにし、フォーマット D を使用、4 日間の以上の日程で行う。
しかしながら、地域の規制が適用される場合、WSL の承認によりフォーマット D2 を使用して 4 人ヒートで行う。

2.09 QS/チャレンジャーシリーズ大会におけるトライアルとその他のイベント

- (a) イベントライセンサーが WSL からトライアルを行うことを許可された場合。
本戦では、1 つのポジションがそのトライアルの勝者のために確保され

る。

- (b) これらのトライアル参加者の内訳は、少なくとも 50%は、QS ランキングをもとに決める（現在と昨年度のランキングカウントの比率は、ツアー & コンペティションオフィスによって決められる）。
残り 50%はライセンスリージョンが決める。これはエントリーの人数が超過した時などに使われる。
- (c) ライセンスリージョン分の中に、そのリージョンの上位 4 名の JQS 選手枠が用意されなければならない。この規則 2.09(c)によってトライアルに出場した選手には、QS ランキングポイントが与えられる。
- (d) WSL によって大会がリージョン選手のみでトライアルを許可されている場合、最大で 1 つのポジションをあげ、その選手の選考はライセンスリージョンオフィスに委ねられる。この規則 2.09(d)によってトライアルに参加する選手には、QS ランキングポイントは与えられない。
- (e) ツアー & コンペティションオフィスから許可を得た場合以外は、トライアルは大会の日程より前に実行されなければならない。
- (f) 他のカテゴリーやトライアルを開催して 96 人フォーマットのクオリファイアを決定する場合は、該当する大会の最短日程よりも前に行う必要がある。
- (g) その大会固有のものでない本選のルールは、全てトライアルにも適用される。
- (h) トライアルでは、本戦をジャッジする WSL の資格を持つジャッジがいる場合、それを使用する。これらのジャッジが他のイベントへの参加や移動中のため、使用できない場合、その代替りのジャッジも、WSL が認めたジャッジでなければならない。
すべてのジャッジは、本戦と同様に WSL の規定に従って、満額の収入を得る。
- (i) トライアリストとは、現在のシードが WSL の QS/チャレンジャーシリーズ大会のルール 2.08 にあるシード圏外の選手である。
- (j) トライアルで敗退した選手は、元の補欠リストの順位を保持できる。
- (k) イベント主催者が追加イベントやサーフ関連イベント、例えば、エクスプレッションセッション、セレブリティヒート等を開催することを希望する場合、少なくとも大会 60 日前までに ツアー & コンペティションオフィスから事前に許可を得る必要がある。
- (l) WSL は、トライアルが第三者(イベントライセンサーを含む)によって開催された場合、またはそれらに起因することによる問題に関して、いかなる責任も負わない。本戦期間内にトライアルが実施することが許可されて

いる場合でも、同様とする。

- (m) イベントへのトライアルに参加するすべての選手は、WSL 会員になることが推奨される。イベントライセンサー/トライアルズプロモーターが WSL 会員になる必要がないとした場合でも、トライアルに関するすべての事柄について、すべての参加選手がルールブックに従うことに同意させ、すべての選手に対して責任を負うことが必要になる。
最終的にトライアル選手は、WSL 会員にならなくては本戦に出場することはできない。

2.10 QS /チャレンジャーシリーズランキングのポイントとリージョンランキング

- (a) チャレンジャーシリーズポイントとリージョナル QS ポイントは、付録 B に示すポイント分配によって配分される。
- (b) 年末のチャレンジャーシリーズとリージョナル QS ランキングにおけるタイブレイクは、以下の方法で解決する。
 - (i) そのサーフシーズンにおけるチャレンジャーシリーズ/リージョナル QS イベントのベストカウントからカウントバックする。もし、どちらかがこれで、他の選手を上回った場合、その選手が上位となり、他の選手は下位となる。カウントバックでもタイの場合は次の(ii)が適用される。
 - (ii) そのサーフシーズンにおけるチャレンジャーシリーズ/リージョナル QS イベントのヒート勝数の多いほうが上位となり、他の選手は下位となる。これでもタイの場合、そのサーフシーズンにおけるチャレンジャーシリーズ/リージョナル QS イベントのヒートスコアの平均が高いほうが上位となり、他の選手は下位となる。
- (c) リージョナル QS ランキングは、現サーフシーズン内において算出される。ツアー&コンペティションオフィスおよびリージョンオフィスがこの大会の数について決定し、選手に知らせる。結果により加算されるポイントがその選手の「リージョナルポイント」となり、そのランキングはその地域の他のサーファーとの比較となり、そのサーファーの「リージョナル QS ランキング」となる。
- (d) リージョナル QS ランキングで最も高い順位を獲得したサーファーが、サーフシーズン終了後、次のサーフシーズンのリージョナルチャンピオンとなる。
- (e) ルール 2.10 の規定にかかわらず、QS イベントのシード順を決定するために、いずれかのサーファーの QS ランキングがタイである場合、そのタイブレイク方法はルール 2.21 のシードオーダーに準ずる。

2.11 資格を取るためにカウントされるイベント数

チャレンジャーシリーズ

5 試合より多い場合は、ベスト 5 カウント。

5 試合の場合は、ベスト 4 カウント。

4 試合の場合は、ベスト 3 カウント。

3 試合以下の場合は、すべてがカウント。

リージョナル QS シリーズ

カウントされる試合数はツアー & コンペティションオフィスと、リージョンオフィスによって決定される。

2.12 負傷または妊娠によるランキング調整

(a) リージョナル QS またはチャレンジャーシリーズの負傷または妊娠の調整については、書面による申請書、納得のいく医師の診断書を WSL に提出する。また、該当する年のリージョナル QS またはチャレンジャーシリーズの 50% 以上を欠場していること。その上負傷時に QS ランキングで、男子は 150 位、女子は 75 位以上を前年度、またはその年のサーフシーズンに獲得していることを条件とする。

ツアー & コンペティションオフィスによってランキング調整が承認された場合、ファイナルランキングは現在のランキングから男子は 22、女子は 10 アップしたランキングとなる。

(b) また、選手はシーズン中の負傷でミッドシーズン後まで競技に参加できない場合、それを証明する医者の診断書を提出することで、ミッドシーズンランキング調整を申請することができる。ツアー & コンペティションオフィスがそれを承認した場合、その時点でその選手が前年度より低いランキングあるいは前年度のランキングを上回るランキングであり、その選手が QS/チャレンジャーシリーズランキングのために最低数の試合に出場していたとしても、申請した選手は、その年の始めのシード権を翌シーズンに獲得する。

ツアー & コンペティションオフィスは、その他の緊急事態で選手が試合に出場できる時間が制限された場合も、ランキングを調整を承認する。WSL メディカルコーディネーターは、選手の健康状態および診断書の有効性を確認する独自の裁量権を持つものとする。

2.13 QS/チャレンジャーシリーズ料金

インターナショナルイベント

(a) 自国以外で開催される QS/チャレンジャーシリーズに出場する者は、イン

ターナショナル選手料金を支払い、メンバープロを通じて、そのサーフシーズンの旅行保険に加入しなくてはならない。

- (b) 自国以外の QS/チャレンジャーシリーズに参加することができるのは、年齢が 15 歳以上である場合に限る。14 歳以上の選手がこの条件を免除して参加したい場合、その可否は WSL が独自の裁量で決定するものとする。
- (c) すべてのイベント参加費は、WSL のオンラインエントリーシステムで決済する。
- (d) メンバーシップ料金をフルで支払っている選手がリージョン内での QS/チャレンジャーシリーズ大会に参加する場合、どのような追加料金も必要ない。
- (e) 前年度のランキングを持つすべての選手で、選手登録を 1 月 31 日までに行わなかった場合、その選手はすべてのシード権を失う。シード順は前年度にいかなるランキングを持っていたとしても、シード外の先着順となる。

リージョナルイベント

- (a) WSL の全リージョンにおいて、選手が自分の所属するリージョンだけの大会に出場したい場合は、その該当するオフィスが決定した選手料金が適用される。WSL アフリカもそのリージョン内の複数の QS イベントで競技を行う場合に適用される料金設定がある。
- (b) QS1000-5000 イベントにおいて、リージョン選手はルール 2.13(a)(リージョナルイベント)の通り、リージョナルオフィスが設定する選手料金を支払う。彼らには前年度のシーズンのシード権が割り当てられる。
- (c) メンズチャレンジャーシリーズ大会への参加には、インターナショナルイベントに適応したインターナショナル選手料金の支払いが必要となる。
- (d) QS/チャレンジャーシリーズイベントの賞金ラウンドへ進んだ選手は、リージョナルまたは 1 大会のみの金額と、ルール 2.13(a)(インターナショナルイベント)に記してある金額との差額を支払う必要がある。もしもこの差額が事前に支払われていない場合は獲得した賞金から差し引かれる。

選手料金を支払わずに競技に参加した選手はその大会のポイントは獲得できず、それまでのシード権をすべて失う。選手はメンバープロを通して旅行保険に加入しないと試合に出場されることは認められない。

CT 選手は、すべての QS/チャレンジャーシリーズに適用されるエントリー費を支払うが、その他の QS 選手料金の支払いは必要ない。

WSL が指定する終身メンバー、または元 CT ワールドチャンピオンは、QS 選手料金を支払う必要はないが、エントリー費を支払わなければならないし、メンバープロを通じて、旅行保険に加入する必要がある。

WSL イベントへの参加に関しては、アマチュアとプロフェッショナルの間の料金に差はない。

アマチュアは、プロフェッショナル同様のポイント、賞金、シード権などのステータスを受け取ることができる。彼らの氏名は WSL ランキングに表記されるが、アマチュアという表記はつかない。

アマチュアのステータスに関連する地域の規制や法律に対しては、この状況が適用される。アマチュアがその年にプロに転向しても、それ以前に獲得したポイントを失う事はない。

2.14 エントリー費 : WSL がメンバープロで特に承認しない限り、各大会には、以下のエントリー費が適用される。

(a) QS1000-QS3000: 最高 US\$200、必要とする場合は税金を加算する。

(b) QS5000: 最高 US\$250、必要とする場合は税金を加算する。

(c) チャレンジャーシリーズ大会: 最高 US\$325、必要とする場合は税金を加算する。

2.15 イベント登録とエントリー手続き

(a) すべての QS/チャレンジャーシリーズ大会の登録は、メンバープロを通じてオンラインで行う。

やむを得ない事情で選手がそれを行うことができない状況である場合、速やかに WSL に連絡しなければならない。

(b) すべての QS/チャレンジャーシリーズ大会のオンライン登録は、シード権を確保するためには、イベント応募締切日（オンラインダウンロード可能なスケジュールに記載されている）のアメリカ太平洋岸時間の午後 5 時までに行わなければならない。

(c) 何らかの理由でエントリー費の支払いが拒否された場合、その選手には E メールで通知され、問題解決のために 7 日間の猶予が与えられる。7 日後に支払いがない場合、その選手は、QS/チャレンジャーシリーズ大会のエントリーおよびシードリストから削除される。その選手が再度 QS/チャレンジャーシリーズ大会にエントリーする場合、他の新規エントリーしたサーファーと同様に、その時点での QS/チャレンジャーシリーズ大会

の最下位のシーディングとなる。

- (d) 選手がイベント開催期間が重複している複数の QS/チャレンジャーシリーズ大会にエントリーしている場合、より高いレーティングの大会にエントリーされる。重複している大会のレーティングが同じ場合、選手にはできる限り早く連絡される。選手はどの大会に参加するかを選択し、7 日以内に返信しなければならない。もしも、7 日以内に返信がない場合、その選手が出場するのは メンバープロに先に確認された大会へのエントリーになる。
- (e) エントリー締切日以降に着金した QS/チャレンジャーシリーズ大会のエントリー費はイベント開始日まで、エントリーが満席になるまで先着順となる。
- (f) イベント主催者がエントリーを受け付けることはできない。必ずメンバープロを通してエントリーさせる。
- (g) ビーチエントリーは、エントリー費を大会会場で WSL リージョナル代表に支払う。ビーチエントリーをした選手は、補欠リストに入る。その他の情報は、ルール 2.23 を参照のこと。
- (h) CT 選手は、CT 大会の開催期間中に行われる QS/チャレンジャー大会にシード権を伴ってエントリーすることはできない。ただし、CT で早期に敗退している場合、ビーチエントリー、またはその大会のワイルドカード候補として考慮される場合には、エントリーが可能となる。

2.16 会員資格における所属リージョン確定要件

- (a) WSL は、所属リージョンを確定するための居住地に関する要件を定めている。選手はこれらの要件のもとにリージョンを変更することができる（「リージョナルステータス」）。これらの要件は複雑であり、選手はしばしば居住地について WSL から質問を受けることがある。WSL の定める居住地の要件を知ってもらうため、よくある質問に対する回答形式で以下に掲載する。この情報は、法律の完全な説明ではなく、また、居住に関する法規制に依存するものではない。正式な居住地という認識は、州、地域、国によって異なるので、それらを考慮する必要があり、WSL では時折変更を加えることがあります。特定のリージョンに関する要件は、各リージョンが決められているので、問い合わせること。（連絡先はこのルールブックの巻末参照。）
- (i) リージョナルステータスの変更の資格を受けるには、どのような条件が必要ですか？ある一定期間、そのリージョンの正式な居住者でなければなりません。期間はリージョンによって異なるので、それぞれ

の WSL リージョンオフィスによって設定された期間をご確認ください。加えて、その申請時に選手が成人であるか、未成年であるかも条件になります。選手が未成年者であっても、申し込み前の期間において、そのリージョンの法的な居住者でない場合に両親、または保護者が申請をする場合、税法上の扶養家族とされていないこと。

(ii) 「正式な居住」とは何ですか？正式な居住地は、法律上の住所と同義です。住所とはその人が恒久的に住んでいて、不在の後にも戻ることができる場所です。正式であることというのは、そのリージョンに物理的に居住していなければならないですし、そのリージョンで、そこが恒久的な家であるとする意思を示すことが必要です。

(iii) 選手はどのように WSL リージョンが彼らの恒久的な家の本拠地であることを証明するのでしょうか？一回の行動ではサーファーの意思を示すものにはなりません。WSL はリージョナルステータスを変更する場合の申請書を評価する際に、そのリージョンに特有の勘案事項、いくつかの行動を組み合わせることで考えられるすべての意思表示により決定します。正式な居住である意思を示す行動で、主なものは、以下の通りです。

(v) その国、またはそのリージョンの個人の住民税申告書を提出すること。

(w) そのリージョンの現在の運転免許証の提示。

(x) そのリージョンに家を所有しているか、継続的に借りていること。

(y) そのリージョンでの永続的または継続的な雇用があること。

そして。

(z) そのリージョンに配偶者、子供、その他の近親者の存在があること。

もちろん、この他にもそのリージョンを恒久的な住まいと証明できる書類があれば提出すること。

(b) 所属リージョンの要件になる、WSL の定める居住地について他に知っておくべきことは？

(i) 会員資格を得る為の正式な居住者である為には、選手は申請している国の国民または(またはその一部)の永住者でなければなりません。

(ii) 選手は 2 つのリージョンを同時に居住地とすることはできません。言い換えれば、選手がその地域の外で居住地を維持しているように見

える場合、その国の正式な居住者にはなりません。ハワイの場合は別の米国の州を居住地とすることも含みます。

(iii) 選手は、居住地を変更するだけでは所属リージョンの変更はできません。所属リージョンの変更のためには、そこに永続的に居住する意思を証明するものがなければなりません。

(c) 選手は所属リージョンの変更を申請するために、何をしなければなりませんか？

選手が他のリージョンに移動する場合、以下のことを行う必要があります。

(i) このルールに記載されている情報をガイドとして読み、選手の所属リージョン変更が可能かどうか考える。

(ii) 現在の所属リージョンオフィス、および新しく移りたいと考えているリージョンオフィスに連絡する。

(iii) 申請がスムーズに受理されるように、求められたものを関係各所にできる限り提出する。

(iv) 所属リージョンの変更を求める理由の説明を書面で書く。リージョンガイドを参照した情報、本ルールおよび関連するリージョンの要件に記載されている事を考慮し、その証明書類とともに提出すること。

(v) 申請書を移動先のリージョンに送付する。

(d) 申請の可否を決定するのは誰ですか？

該当するリージョンのスタッフが、選手のリージョナルステータスを変更するための申請が受理されるかどうか、リージョンの要件、およびその他の規ルールに基づいているかどうか、ツアー&コンペティションオフィスが決定したとおりとなるかを考慮したうえで判断します。選手が申請に関する判定に同意できない場合、最終決定権を持つツアー&コンペティションオフィスに対して、不服申し立てとその理由を提出することができます。

2.17 エントリー確認

(a) 大会の締め切り日にエントリーできた選手に対しては、その旨連絡が来る。そしてメンバープロを通して、自動的にクレジットカードからエントリー費が引き落とされる。大会がフルの時はクレジットカードからの引き落としはなく、選手は補欠リストに入る。

(b) 補欠リストにある選手が本戦に入れた時、その時点でクレジットカードから引き落としが行われる。選手が補欠リストから名前を外してほしいと思

った場合は大会が始まる日より前に WSL にそのことを連絡しなくてはならない。詳しくはルール 2.17(c)を参照。一度選手が本戦にエントリーをし、エントリー費が引き落とされた場合、その払い戻しは行われない。

- (c) 一度エントリーが確認された場合、すべての選手は大会前に要求されたすべての安全のための説明会に出席し、大会用の ID パスを受け取らなくてはならない。

2.18 エントリーキャンセル、払い戻し、診断書

- (a) ルール 2.18(b)に従い、選手が大会のエントリーをエントリー締切日以降にキャンセルした場合、その大会のエントリー費用は没収される。
- (b) 負傷の通知が書面で、該当するリージョンオフィスに大会開始日の 7 日前までに提出され、その診断書の内容が規則 2.18(e)の場合は、エントリー費から 50ドルの手数料を差し引いた金額が払い戻される。
- (c) エントリーが完了した後のキャンセルは、すべて次のアドレス、cancellations@worldsurfleague.comあてに、該当する大会名、キャンセルする理由、選手の詳細を書いてメールで送らなくてはならない。
- (d) CT 選手がチャレンジャーシリーズへのエントリーをキャンセルした場合、ツアー&コンペティションオフィスがそのスポットを他の CT 選手にリプレイスできる。代わりとなる CT 選手が大会締め切り日までにエントリーしていなくても、リプレイスは可能。
- (e) 医師の診断書、またはルール 2.18(e)に沿った負傷の通知は、エントリーのキャンセルから遅くとも 48 時間以内の日付が記載されていなくてはならない。ツアーディレクターが、その証明書類が適切であるかどうかを判断する。

2.19 エントリーの選考順位

- (a) QS1000-5000 大会およびチャレンジャーシリーズ大会の出場選手の選考順は、以下の方法で行われる(このルールブックに従って適切に該当サーファーがエントリーしている場合)。すべての ワイルドカードは、ツアー&コンペティションオフィスまたはその指名する代理人の承認を得なければならない。
- (b) リージョナル QS 1000-3000-5000。
 - (i) CT 選手。
 - (ii) リクオリファイをしていない前年度の CT 選手、そして前年度チャレンジャーシリーズ最終ランキングのクオリファイラインから下(今年の CT 資格を持たない者)の上位男子 10 名、女子 5 名。

- (iii) リジョナルジュニアシード: そのリージョナルの前年度ジュニアランキング男子上位 3 名、女子上位 2 名。
- (iv) 該当する QS イベントのディフェンディングチャンピオン。
- (v) 過去 5 年間のワールドチャンピオンから最大 1 名。ライセンスリージョンのワールドチャンピオンを優先するが、それが存在しない場合、最新のワールドチャンピオンを優先する。
- (vi) ルール 2.10(c)による前年度リージョナルランキングシード。リージョンによっては、当年度のリージョナルランキングに変更することがある。これは、ツアー&コンペティションオフィスと協議し決定される。該当リージョンの選手にはシリーズ開始日前に通知される。
- (vii) ワイルドカードの割り当ては次の通り。

ワイルドカード割り当て表

メン&ウィメン-QS1000-QS3000				
イベント フォーマット	ワイルドカード 人数	WSLによる ワイルドカード	イベント ライセンス選択 ワイルドカード	ラウンド
16人	2	1	1	16
24人	2	1	1	16
32人	4	2	2	32
48人	4	2	2	32
64人	4	2	2	64
72人	4	2	2	64
96人	4	2	2	64
96人以上	4	2	2	64
メン&ウィメン-QS5000				
メン 128人+-	6	3	3	WSL1 大会1 ラウンド64, 96, 128
ウィメン 60人+-	4	2	2	WSL1 大会1 ラウンド48, 72

- (c) ハワイにおけるシーズン最終戦を除く全てのチャレンジャーシリーズ大会
出場選手の選考順
 - (i) CT 選手

(ii) リージョナルランキングのシードは以下のように配分

1. アフリカ - 男子 5 名/女子 3 名
2. アジア - 男子 6 名 / 女子 6 名
3. オーストラリア - 男性 10 名 / 女性 8 名
4. ヨーロッパ: 男性 10 名/女性 8 名
5. ハワイ: 男性 7 名/女性 6 名
6. 北米: 男性 10 名/女性 8 名
7. 南アメリカ - 男子 10 名/女子 4 名

注: 上記の各地域の割り当て数のうち、男女 1 名ずつをシード枠とし、その地域の選手のワイルドカードとするが、これはツアー&コンペティションオフィスがそのリージョンと協議の上決定する。

(iii) WJC シード: 男子上位 2 名、女子上位 2 名

(iv) ワイルドカード: 男女各 2 名 (WSL 枠 1 名 とリージョン枠 1 名)

(v) ワイルドカードの枠がある場合、該当するチャレンジャーシリーズのディフェンディングチャンピオンにそのスポットを与える

(vi) ワイルドカードの枠がある場合、最大 1 名、過去 5 年間のワールドチャンピオンから選出する。ライセンスリージョンのワールドチャンピオンを優先するが、それが存在しない場合、最新のワールドチャンピオンを優先する。

(vii) 未使用の CT 選手枠、WJC シード枠、または他のあらゆる未使用の枠はツアー & コンペティションオフィスが決定する、追加のワイルドカード枠となる。

シーズン最終戦のハワイ大会のチャレンジャーシリーズ-男子 80 名、女子 48 名のフォーマット

(i) CT 選手: 男子上位 12 名、女子上位 8 名。

(ii) その年の CT でリクオリファイできなかった CT 選手: 男子 12 名、女子 7 名

(iii) その時点でのランキングに基づくチャレンジャーシリーズ選手: 男子 52 名、女子 31 名

(iv) ワイルドカード: 男子-4 名 (WSL 2 名、大会/リージョン 2 名) 女子-2 名 (WSL 1 名、大会/リージョン 1 名)

(v) ワイルドカードの枠がある場合、該当するチャレンジャーシリーズのディフェンディングチャンピオンにその枠を与える

(vi) ワイルドカードの枠がある場合、最大 1 名、過去 5 年間のワールドチャンピオンから選出する。ライセンスリージョンのワールドチャンピ

オンを優先するが、それが存在しない場合、最新のワールドチャンピオンを優先する。

- (vii) 未使用の CT 選手枠、WJC シード枠、または他のあらゆる未使用の枠はツアー & コンペティションオフィスが決定する、追加のワイルドカードとなる。
- (d) 締切日前にエントリーした選手は、該当するランキング順に配置される。(エントリーの選考に準ずる) QS/チャレンジャーシリーズ大会の締切日に選手が該当するランキングを持っていないときは、エントリーの日付が優先される。
- (e) イベント締切日以降にエントリーした選手は、エントリーの日付が優先される。これらのエントリーは、補欠リストの最下位に位置し、その選手の持つすべてのシード権は無いものとする。
- (f) 残りのスポットは全て補欠リストの順に基づき配分される。
- (g) ハワイの QS/チャレンジャーシリーズ大会では、現地での規制により、イベントの詳細は、大会開催日数の決定許可が出るまで詳細は確定できない。従って、以下が適用される。
 - (i) 3 日間で開催される大会は、96 人または 112 人フォーマットを採用。
 - (ii) チャレンジャーシリーズ大会のエントリー選考は、ルール 2.19(c)に規定されるとおりとする。
 - (iii) 96 人フォーマットの QS (チャレンジャーシリーズ大会を除く) のエントリー選考は、以下のとおり。
 - (x) 16 人の地元ハワイ選手に加え、
 - (y) ルール 2.19 の選考順が適用される。
- (h) 4 日間で開催される大会 (チャレンジャーシリーズ大会を除く) は、128 人フォーマットを採用。
- (i) QS イベント (チャレンジャーシリーズ大会を除く) で 96 人フォーマットを超える人数の場合、WSL によって決定されたその人数に対応する選考順を使用する。

2.20 QS シードポイント

- (a) リージョナル QS シードポイントは、前年度の最終 QS ランキングポイントと現在の QS ランキングの組み合わせに基づいて、ツアー & コンペティションオフィスと協議したうえで、リージョンオフィスによって決定される。ただし、各リージョンによって行われる大会数によっては、シーズン中のある時点で、現在のリージョナル QS ポイントがシードポイントになる可能性があるが、それはリージョンオフィスがツアー & コンペティションオフィスと

協議したうえで決定する。該当するリージョナル選手にはリージョナル QS シリーズがスタートする前に、このシーディングルールが説明される。

- (b) チャレンジャーシリーズシードポイント
 - (i) CT 選手でカットオフに入れなかった選手にはリージョンシードよりも高いベースシードポイントが CT ランキング順に与えられる。
 - (ii) リージョナルランキングシードは、ツアー&コンペティションオフィスが決める特定のリージョン順でベースシードポイントが割り当てられる；
 - (iii) リージョナルランキングは、前年度の QS/チャレンジャーシリーズランキングとその各リージョンの成績に基づく。
- (c) チャレンジャーシリーズのシードポイントはシーズン前半のベースシードポイントと現在のチャレンジャーシリーズランキングポイントの組み合わせになる。シーズン中盤以降は現在のチャレンジャーシリーズランキングポイントがシードポイントとなる。

2.21 QS シードオーダー:リージョナル QS/チャレンジャーシリーズ大会のエントリーの選択は、該当する大会のヒート表が作成される時点で以下のようにシード順が決まる(サーファーがどのラウンドにシードされるかも含む)

- (a) 現在の CT シードポイントに基づく CT 選手。
- (b) 残りのサーファーに関しては、該当する大会への現在の QS またはチャレンジャーシリーズのシードポイントによる。
- (c) リージョナル QS またはチャレンジャーシリーズのシードポイントの有無にかかわらず、WJC チャンピオン；
- (d) 過去の CT ワールドチャンピオン；
- (e) エントリーをした日付順で選択された、リージョナル QS またはチャレンジャーシリーズのシードポイントを持たない選手

ハワイで開催されるメンズチャレンジャーシリーズ大会では、選手のシード順は以下の通り。

- (a) クオリファイした CT 選手の中から上位 12 名のエントリーをした CT 選手。
- (b) 残りは現在のチャレンジャーシリーズのシードポイントに基づく。
- (c) ワイルドカード 4 名、ラウンドオブ 80 で 2 名、ラウンドオブ 64 で 2 名。

ハワイで開催されるウィメンズチャレンジャーシリーズ大会では、選手のシード順は以下の通り。

- (a) クオリファイした CT 選手の中から上位 8 名のエントリーをした CT サーファー。

- (b) 残りは現在のチャレンジャーシリーズのシードポイントに基づく。
- (c) ワイルドカード 2 名、ラウンドオブ 48 で 1 名、ラウンドオブ 32 で 1 名。
現在のチャレンジャーシリーズランキングポイント(ルール 2.11 参照)で、シードを決定する場合に同点があるとき、順位づけは以下とおりとする。
その年のサーフィンシーズンのチャレンジャーシリーズ大会でのベストカウントをカウントバックしていく。それでも同点が解消されないときは、前年度のランキングが上の選手が上位のシードを得る。

2.22 QS/チャレンジャーシリーズイベントのディフェンディングチャンピオン

- (a) 同じ QS /チャレンジャーシリーズ大会において、ディフェンディングチャンピオンは翌シーズン以下のように扱われる。
 - (i) リージョンの QS 1000-5000 イベントで選手はエントリーが保証される。
 - (ii) チャレンジャーシリーズのイベントで枠がある場合、ワイルドカードが割り当てられる。それを受け取っていない場合は、トライアルに入れる必要がある(トライアルがある場合)。
 - (iii) 不可抗力により QS /チャレンジャーシリーズ大会がキャンセルされた場合、このルールは、翌シーズンの QS/チャレンジャーシリーズ大会が実行された場合にのみ適用されます。QS /チャレンジャーシリーズ大会が 2 年連続で開催されない場合、このルールは適用されない。
- (b) 規則 2.22(a) で言及されているディフェンディングチャンピオンに提供される利点を利用したい場合、2.15 の規則にしたがって該当の QS /チャレンジャーシリーズ大会エントリーする必要がある。

2.23 リプレイスメント

- (a) シード選手で、まだ出場しておらず、出場しない意思のある選手がいたときは、前ラウンドまでに出場していないシード順位が最も高い選手をリプレイスする。もしも誰も該当者がいない場合、そのヒートはその場にいる選手で行なわれる。
- (b) すべてのヒートで選手が欠場の場合、リシードは行われず、以下のリプレイスメント順が適用される。
- (c) リプレイスが可能な場合、全てのラウンドの全てのヒートにおいて、前のヒートの終了 5 分前の時点でリプレイスが割り当てられる。そのヒート開始前にヒートがない場合、ヒート開始 5 分前にリプレイスが割り当てられる。

- (d) 勝ち上がった選手は、リプレイスできない。
- (e) QS/チャレンジャーシリーズ本戦で敗退した選手は、いかなる理由でも再出場することはできない。但し、トライアルに出場した選手は除く。
- (f) 大会開催期間内の競技が開始されると、補欠枠(「WSL インターナショナル」またはイベントスポンサーによるワイルドカード枠を除く)は、補欠リストに登録されている選手によって埋められる。
リプレイスメントやワイルドカードの枠は大会スポンサーによって指名された選手(大会のツアーマネージャーによって妥当な時間内に決定された)によって埋められる。万が一選手が適時に指名されず、大会スケジュールが影響を受ける可能性があるときは、補欠リストからリプレイスする。

2.24 選手の失格

- (a) イベント開始後、シードされた選手がその選手の最初のヒート終了までに現れない場合、その選手のポイントおよび賞金(もしあれば)は没収される。賞金は WSL リージョナルオフィスに支払われる。
- (b) 呼び出されてもチェックインしなかった補欠選手は、最終的にチェックインした時点で、補欠リストの最下位に配置される。
- (c) 選手が不可抗力により遅延した場合、複数の選手が関与している場合、WSL ツアーディレクターは、それらの選手を補欠リストの最上位に置くことができる。
- (d) 選手がヒートを欠場した場合、エントリー費の払い戻しは行わない。
- (e) 選手が重症のけがなど(医師の診断書が必要)、あるいは安全上の理由(その旨の書面を提出)などで出場しないことを決めた場合、その選手はその試合でのポイントや賞金を受け取ることはできない。
- (f) 選手が負傷し、そのヒートにチェックインするつもりがなく、ビーチマーシャルと関連するツアーマネージャーにヒート前にそれを告げた場合、その選手は その時点でのポイントおよび賞金を受け取ることができる。そのスポットは、資格のある選手によってリプレイスできる。

2.25 妊娠:

妊娠中、また子供が生まれてから選手が競技に戻るまで、その選手は、QS/チャレンジャーシリーズ大会に出場するかしないかの意思を書面で通知する必要がある。この通知は、大会開始日の 21 日前に、ツアー&コンペティションオフィスを通じて WSL に提出する。選手が出場する意思を示したものの、イベント開始日前に出場しないことを決定した場合、イベントの賞金は失うが、

シードに相当するランキングポイントは付与される。妊娠中の選手は、そのイベントの賞金とランキングポイントを受け取るために、ツアー & コンペティションオフィスのメンバーと共にチェックインする必要がある。いかなる状況においても、WSL は、妊娠中の選手が受けた医学的アドバイスを厳守することを強く推奨する。妊娠中の選手は、そのような医学的アドバイスを WSL に開示するよう求められる場合がある。さらに、妊娠中の選手が大会に出場するつもりであると WSL に意思表示し、WSL が安全に懸念を抱いている場合、大会参加前に適切な医学的文書を提供するよう要求することがある（必要に応じて、診断書）。妊娠の詳細と開示された医学的アドバイスを、WSL は極秘扱いとする。

2.26 脳震盪：

すべての選手は、WSL が採択した脳震盪プロトコルの条件に従うものとする。また、練習や競技中に脳震盪を起こした場合、脳震盪に精通した医師による評価と競技復帰の許可が出るまで、競技に復帰することができない。選手は、適切な医学的文書を大会参加前に WSL に提出する必要がある。開示された医学的アドバイスの詳細を、WSL は極秘扱いとする。

2.27 エントリー後の QS/チャレンジャーシリーズ大会の不参加について

- (a) 確認とエントリー費の支払いを受けた後に選手が大会に現れず、不十分な理由 (WSL ツアーディレクターの判断による) がある場合、選手は WSL 規律ディレクターの判断により、将来的な QS/チャレンジャーシリーズ大会のシード権剥奪を含む罰金を課せられる。
- (b) 複数回の不参加の場合、シード権の喪失は、不参加のたびに 1 試合ずつ増加するものとする。
- (c) 事故や家族の事情などの同情的な理由で選手が WSL に不参加を通知することが物理的に不可能であった場合、考慮の対象になる。他の選手が本人に代わって大会側に通知することはできない。このような場合、選手は WSL ツアーディレクターにできるだけ早く通知する必要がある。

2.28 選手によるメディアへの義務

- (a) QS/チャレンジャーシリーズ大会では、記者会見に出席を要請された場合、全ての選手に参加が義務付けられている。
- (b) 全てのファイナリストは、QS/チャレンジャーシリーズイベント決勝戦が開催された直後の会場での表彰式に出席しなければならない。

2.29 WSL イベントに関する一般ルール

- (a) 出場インセンティブ(ポイントや賞金)を提供する QS/チャレンジャーシリーズ大会は WSL に連絡し、承認を得なければならない。
- (b) すべての WSL イベントは、WSL が規定するシステムの WSL の公式コンピュータスコアリングシステムを使用しなければならない。WSL の承認のもとにスコアリングシステムが使用されない場合(例、プラス/マイナス・システムなど)、結果とスコアは、WSL が要求したフォーマットで提出する必要がある。
- (c) WSL ビデオリプレイシステムは、すべてのチャレンジャーシリーズ大会で使用されなければならない。
- (d) すべてのチャレンジャーシリーズ大会には、専任のサーフディレクターが必要で、その身元をツアー&コンペティションオフィスに通知する必要がある
- (e) 各 QS 大会のサーフディレクターは、WSL によって承認されなければならない。
- (f) 仕切られたオフィシャルエリアが必要。
 - (i) 大会会場内のすべての仕切られたエリアまたはオフィスは、禁煙でなくてはならない。
 - (ii) アルコールは、指定された VIP エリア(もしあれば)でのみ飲むことができる。
- (g) 全てのチャレンジャーシリーズ大会において、メインイベントから敗退した選手には、セキュリティパスが提供され、イベント期間中は選手用のエリアにアクセスできる。

2.30 最低年齢

- (a) 選手は、所属リージョン外の大会に参加する場合、大会開催時に 15 歳以上でなければならない。
- (b) 選手は、所属リージョン内の大会に参加する場合、大会開催時に 12 歳以上でなければならない。

第5章 ジュニアツアールール

- 5.01 **年齢:** 選手がジュニア大会に参加するための最高年齢は、その年内に 20 歳に届く年齢とする。WJC 大会が次の暦年に開催される場合、出場資格を持った選手は例外となる。所属リージョン外の大会に参加する場合、大会開催時に 15 歳以上でなければならない。所属リージョン内の大会に参加する場合、大会開催時に 12 歳以上でなければならない。
- 5.02 **選手料金および保険:** 選手が自国以外の WSL イベントの競技に参加しようとする場合、国際料金を支払わなければならない。さらにすべての選手は、メンバープロを通じて旅行保険に加入しなければならない。
- 5.03 **エントリールール:** ルール 2.14-2.18 に記載されたエントリールールがすべての JQS 大会に適用される。

ワールドジュニアチャンピオンシップ(WJC)

5.04 ワールドジュニアチャンピオンシップ賞金分配

男子・女子24人フォーマット

男女24人フォーマット	
順位	賞金
1 位	\$10,000
2 位	\$5,000
3 位	\$2,500
5 位	\$2,000
9 位	\$1,500
17 位	\$1,000
合計	\$48,000

- 5.05 **世界ジュニアランキング:** 世界ジュニア選手権大会 1 試合の結果で、そのシーズンの世界ジュニアランキングが決定する。
- 5.06 **スケジューリング:** WJC イベントは、ツアー&コンペティションオフィス の承

認なしに、QS5000 以上のイベントと同じ日程で開催されることはない。すべての大会(WJC イベントを含む)ツアー&コンペティションオフィスの承認を受けけるものとする。

5.07 世界ジュニア選手権大会の出場資格

地域 JQS シーズンの終了時の WJC 資格のためのカットオフは WJC 大会の日程と場所が確定した時となる。このカットオフの日付で次の選手がメンズの WJC の出場資格を得る。

- (a) WSL の 7 リージョンオフィスから 2名ずつ、JQS 最上位ランクの選手で構成する。
- (b) WSL が選出するワイルドカード10名。
以下、ウィメンズ WJC の出場資格者。
- (a) WSL の 7 リージョンオフィスから 2 名ずつ、JQS 最上位ランクの選手で構成する。
- (b) WSL が選出するワイルドカード10名。

5.08 WJC シード順位 :選手は、以下のように WJC にシードされる。

- (a) 現役 CT 選手で、現在の CT シード順位に基づき WJC の出場資格がある者。
- (b) 前年の WJC ランキングの上位 4 名。
- (c) 最新の CS ランキング。
- (d) 7 つの WSL リージョンの各ジュニア・チャンピオン(7 名)、および
- (e) イベントの残りのシード枠は JQS リージョナルランキングで順に埋める。

5.09 世界ジュニア選手権フォーマット :メンズ・ウィメンズ WJC 大会は 24 名の選手で構成され、以下のフォーマットで行われる。

- (a) ラウンド 1 は 3 名ずつの 8 ヒートとし、1 位はラウンド 3 へ、2 位と 3 位はラウンド 2 へ進む。
- (b) ラウンド 2 は 2 名による 8 ヒートとし、勝者がラウンド 3 へ進出する。
- (c) ラウンド 3 は 2 名による 8 ヒートとし、勝者がクォーターファイナルに進出する。
- (d) クォーターファイナル以降は、勝者が決定するまで 2 名ずつによるヒートとなる。

この規則 5.09 に記載のフォーマットは、男子・女子 WJC イベントにおける標準フォーマットである。

- 5.10 **翌年の QS/チャレンジャーシリーズ大会への出場資格**: QS のシード権に従う。男女 WJC の上位 2 名の選手には下記の出場権が保証される。
- (a) 所属するリージョンの全ての QS 大会。
 - (b) 出場資格がチャレンジャーシリーズランキングに基づき決定される最終戦を除く、全てのチャレンジャーシリーズ大会

ジュニアクオリフィケーションシリーズ (JQS)

- 5.11 **JQS 大会賞金とポイント** : JQS のリージョナル大会での賞金の最低額は、WSL リージョンオフィスがツアー & コンペティションと協議の上、決定する。
- 5.12 **JQS ランキングポイント**: JQS 大会における男女のランキングポイントは、付録 B に記載の QS1000 ポイントの内訳に従って配分される。
- 5.13 **エントリーの選考方法**: JQS 大会へのエントリーの選考は、以下の手順で行われる:
- (a) ワイルドカード 2 枚 (WSL に 1 枚、イベントライセンスに 1 枚)。
 - (b) (c) に記載の割り当てを最初に満たす、前年の WJC ランキング上位 4 名で、(本ルールブックに従ってエントリーした場合)
 - (c) 残りのエントリー枠は、前年度の JQS ランキング順に WSL リージョナル選手に提供される。
 - (d) インターナショナルサーファーはポジションが残っていた場合 JQS オーダーに沿ってエントリーできる。
 - (e) 欠員は、エントリーした順に補充される。
- 5.14 **JQS シード順位**: JQS イベントのシード順位は、以下の順とする。
- (a) 本ルールブックに従ってエントリーした場合、前回の WJC の上位 4 名 (32 人以下のフォーマットは上位 2 名)。
 - (b) 前年の JQS ランキング順でそのリージョンの選手。
 - (c) エントリー順で JQS ランキングを持たないリージョンの選手。
 - (d) エントリー順でインターナショナル選手。
- 5.15 **JQS ランキング**: リージョンの JQS ランキングは、現在そのリージョンに登録されたサーファーのみが対象となる。

第 10 章: 競技ルール

本章のルールは、特に明記されていない限り、またはそのルールがこのルールブックと直接矛盾しない限り、すべての競技に適用される。矛盾する場合、そのルールは、それぞれの章の矛盾するルールが適用される。

10.01 「コール」: CT 大会および CT 以外の大会で、ツアー&コンペティションオフィス代表が公式の立場として出席する場合:

- (a) 競技の進行に関して、波はサイズと形がコンテスト可能であるかどうかどうも考慮されなければならない。ツアー&コンペティションオフィス代表(または 指定された代表者)が最終的な判断をする。ヘッドジャッジ、CT 選手代表、ツアー&コンペティションオフィス代表の 3 者のみが参加できるプライベートな場所で協議の上、「コール」する。
- (b) ルール 10.01(a)に従い、男女ともにコンディションがコンテスト可能と判断された場合、男女の選手が共に競技に参加する場合でそれぞれの代表者が、どちらを先にスタートするかについて合意できない場合、ツアー&コンペティションオフィス代表(または指定された代表者)が、ヘッドジャッジとコンテストディレクターとで協議の上、最終決定を行う。
- (c) ルール 10.01(a)および(b)が適用されない場合
 - (i) 大会の進行に関して、選手代表、ヘッドジャッジ、コンテストディレクターの多数決で波のサイズおよび形がコンテスト可能であると判断されなければならない。この決定は、3 者のみが参加するプライベートなエリアで行われる。選手代表は、その選手のヒートがコール後の最初のヒートでないという条件で、試合に残っている選手から決定される。複合イベントの場合、コンテストディレクター、男女の選手代表とヘッドジャッジによって協議され、コールが行われる。
 - (ii) ルール 10.01(c)(i)に従い男女ともにコンディションがコンテスト可能と判断された場合、男女の選手が共に競技に参加する場合でそれぞれの代表者が、どちらを先にスタートするかについて合意できない場合、コンテストディレクターがヘッドジャッジと相談をして決定する。
- (d) ツアー&コンペティションオフィス代表(または指定された代表者)、またはヘッドジャッジは、選手がまだ波に乗っていない状態で、コンディションが急激に、または予期せず悪化した場合、ヒート中に競技を中止することができる。

10.02 ヒート時間

- (a) すべての WSL 大会のヒート時間については、ルール 2.08 を参照する

こと。

- (b) CT 大会および QS/Challenger シリーズにおけるヒート時間の変更については、大会を終了するのに十分な時間がない場合、ヒート時間の変更が許可されることがある。ツアー&コンペティションオフィス代表者、サーフィンディレクター、WSL ヘッドジャッジがこれを決定する。
- (c) WSL の計時装置とその方法は、すべての WSL 大会で使用されなければならない。WSL ヘッドジャッジは、すべてのヒートの計時を担当する。
- (d) いかなる場合においても、ヒート開始された後は時間の延長は認められない。何らかの理由でヒートを中断する場合は WSL ヘッドジャッジによって中断されるが、ヒート中断時のポジションに限りなく近い状態から、当初設定された残り時間の分行なわれる。プライオリティ使用時は、そのプライオリティ順を保持する。WSL ヘッドジャッジが独自の判断で中断した時点で、どの選手も決定的なアドバンテージを持ってなく、コンディションが変化し、ジャッジが同じスケールを維持することが不可能になった場合は、そのヒート全体をやり直しすることができる。
- (e) 30 分以下のヒートまたはファイナルで 10 分経過してもライドした選手がいない場合、ヘッドジャッジは、(a) プライオリティを維持したまま継続する。(b) プライオリティ順が確立されている場合は、その状況を継続して、リスタートする。(c) すべての状況を考慮し、独自の判断でヒートを延期、リサーフする。
- (f) 35 分以上のヒート(ファイナルを除く)で 15 分経過してもライドした選手がいない場合ヘッドジャッジは、(a) プライオリティを維持したまま継続する、(b) プライオリティ順位が確立されている場合は、その状況を継続して、リスタートする。(c) すべての状況を考慮し、独自の判断でヒートを延期、リサーフする。
- (g) ツアー&コンペティションオフィス代表者またはヘッドジャッジは、大会開始前に、時間的な制約からヒートリスタートなしと宣言することができる。
- (h) ビーチマーシャルがヒートの選手に間違ったヒートタイムを告げた場合は、以下のようなになる。
 - (i) 実際のヒートタイムがビーチマーシャルの告げた時間より短い場合、残りの時間はあとでリスタートし、全選手がラインナップからスタートする。
 - (ii) 実際のヒートタイムがビーチマーシャルの指示より長い場合、ヘッドジャッジが設定した実際の時間終了までヒートを行う。
- (i) CT 大会以外においては、WSL ツアー代表者が大会の正確なスケジュールを伝えることができる唯一の人物であるが、大会のオフィシャル掲示

板またはビーチマーシャルから提供される情報もオフィシャルとみなされる。もしも、大会関係者またはWSLの他のスタッフに尋ね、間違っただけの情報を受け取り、そのためにヒートをミスしたり、その他の問題が発生した場合、選手に抗議する権利はない。もしもWSLツアー代表者が間違っただけの情報を与え、選手がそのためにヒートをミスした場合は、リザーフが行われなければならない。WSLツアー代表者は、選手に正当な理由があると判断した場合、彼らの裁量で予定外の時間にヒートを開催することができる。CT大会においては、上記の役割はツアー&コンペティションオフィスの責任となる。

- (j) イベントライセンスはすべての選手がいつでも閲覧できる日々のスケジュールの公式掲示板を設置しなければならない

10.03 ヒート開始と終了

- (a) 全ての選手は指示があった場合は、指定されたマーシャリングエリアにヒートを開始前に待機しなければならない。マーシャリングエリアはヘッドジャッジが決定する。
- (b) ヒートの開始と終了にはサイレンまたはホーンを使用し、1回で開始、2回で終了とする。
- (c) ルール 10.03(d)に記載されている残り5分間の視覚的警告と、会場でのアナウンス警告は、ヒート終了前に行われなければならない。
- (d) タイミングディスクシステムは、少なくとも750mm以上の正方形の大型ディスクシステムを使用する。ヒート開始を示す緑色の面（視覚的な警告）と、残り時間が5分を切っている時に表示される黄色またはオレンジ色（ゼッケンの色として黄色を使用する大会ではオレンジ色）を使用する。
- (e) コメンテーターは、各ヒートでヒート終了時に5秒のカウントダウンを行わなければならない。カウントダウンがゼロになると、ホーンを鳴らし、そのヒートは直ちに終了しなければならない。ヒートの正式な終了は、最初のホーンの鳴り始めの時点とする。
- (f) コメンテーターがカウントダウンをゼロにした時点で表示されるタイミングディスクシステムは、ニュートラルポジションで色が表示されない状態で行なければならない。
- (g) ヒート終了後、選手は腹ばいの状態でビーチに戻らなければならない。以下の場合、ヘッドジャッジの判断により選手にペナルティが科せられる場合がある。次のヒート中に波に乗る。または、次のヒートの間、競技エリアに留まり、かつビーチに戻るためのあらゆる努力をしない場合にも、本ルールブックに従いペナルティが科せられることがある。

- (h) ヒート終了時およびヒート中、ライディングが採点されるには、明らかにウェーブフェイスで波をつかんでいること、レールから手が離れ(レールグラブは除く)、立っている状態であることが必要。ヒート開始時にホーンが鳴り始める時点で選手の手がレールから離れていない場合、ヒート終了時の 2 つのホーンがなり始める時点で選手の手がレールから離れていない場合、ジャッジはそれらのライディングを採点しない。
- (i) 選手は、自分のヒート開始前に競技エリア内で波に乗ってはならない。そのライディングは採点されず、1 本ごとに罰金が科せられることがある。プライオリティがある場合、対戦相手にプライオリティが移動する。ただし、オフィシャルオンホールド中である場合を除く。
- (j) ヒートの選手がパドルアウトした後のヒート間の時間の遅れは、不測の事態が発生した場合、またはオーバーラップヒート方式の場合以外は、2 分以内でなければならない。
- (k) 競技開始の 5 分前に、選手は競技エリアから退出するよう警告される。2 分前の警告で、まだ競技エリアにいる選手でビーチにパドルするための協調的な努力をしていない場合は、ルール 14.12 に従い、罰金が科せられる。
- (l) 決勝戦においては、セットが競技エリアに到達した時点でヒートを開始することが推奨される。

10.04 ヒートの中断

- (a) 極度の危険性がありヒートを停止しなければならない場合、CT 大会では WSL ヘッドジャッジとツアー & コンペティションオフィスの代表者(またはその指定代理人)、CT 大会以外では WSL ツアー代表者が次の手続きを採用して中断する。
 - (i) ヘッドジャッジがヒートを中断し、ホーンを鳴らし続ける。タイミングディスクシステムをオフポジションにする。
 - (ii) 可能であれば、PWC 安全管理計画および本ルールブック第 12 章に従い、ジェットスキーのドライバーと連絡を取り、選手を、競技エリアから安全な場所まで移動する。
 - (iii) ヒートを停止した人、または担当者たちが再び安全な状態になったと判断した場合、そのヒートは停止時の残り時間から再スタートするが、ヘッドジャッジが、コンディションの変化や、あるいは再スタートで、選手間の公平な競争が損なわれると判断した場合、ヒートはフルタイムでリサーフされる。
- (b) 選手がサメやそれに類する動物の危険性があると感じて海から離れた

場合、ヘッドジャッジはヒートを止め、ルール 10.04 の手順を使用して、ヒート中の相手にも警告を発しなければならない。ヘッドジャッジがその危険を確認できなくても、これは行われる。

- (c) ヒートのリサーフが可能と判断される事象が発生した場合、ヘッドジャッジはそのヒートについてこのルールブックのルールに従って、“審議中”とする。該当する選手(ヘッドジャッジが決定する)にはその旨が直ちに通知される。リサーフが決定した場合、リサーフの原因となった元のヒートの結果は、リサーフしたヒートの結果に置き換わる。
- (d) ヒートに関して不測の事態が発生した場合、ツアー&コンペティションオフィス(CT 大会)または WSL ツアー代表者 (CT 大会以外)は、WSL ヘッドジャッジと協議の上、解決策を決定する。解決策には、ヒートのリサーフが含まれる場合がある。
- (e) CT 大会においてのみ、ヘッドジャッジはいつでもヒートを中断することができ(ホーンを 1 つ鳴らす)、影響しそうな出来事に関して検討することができる。現在のヒートの状況と審議が終了し、決定がなされた場合、そのヒートは次のいずれかになる。
 - (i) 中断された時点から継続する。
 - (ii) 出来事が現在のヒートに影響すると判断された場合、リスタートする。ヘッドジャッジは、ツアー&コンペティションオフィスの代表者、またはその時点でヘッドジャッジが関連すると判断した者とで協議する。結果が出た後、選手に対してはビーチコメンテーターから(i)または(ii)が伝えられる。
- (f) サウンドシステムの故障の場合、ヘッドジャッジの判断でヒートは保留することができる。ヘッドジャッジは水上安全チームに状況を伝え、選手に知らせる。ヘッドジャッジはヒートが保留になった場合は、ヒートを再開するかどうかをその裁量で決定する。

10.05 集計: すべての WSL 大会におけるヒート集計:

- (a) 各ウェーブにおいて、ジャッジの最高スコアと最低スコアは除外される。
- (b) その後、残ったジャッジのスコアの合計の平均を小数点以下 2 桁まで 10 点満点で確定する。
- (c) ヒート終了時に、選手のベスト 2 ライドがカウントされ、その選手のヒートスコアとなる。

10.06 同点: ヒートスコアが同点の場合、以下の方法でブレイクする。

- (a) 各選手のベストウェーブスコアをカウントする。

- (b) この方法でタイブレイクできない場合、ブレイクできるまで各選手の次のベストウェーブを比較する。
- (c) それでもタイブレイクできない場合は、タイがゼロでない限り、再戦となる。ゼロの場合は、シード順位により次ラウンドへの進出を決める。上記にかかわらず、ヘッドジャッジがライド可能な波がなかったと判断した場合はツアー&コンペティションオフィス代表者がそのヒートのリサーフの裁量権を持つ。

10.07 プロテスト(抗議):ライディングのスコアなど、競技において判定を伴うジャッジの決定は、最終的なものとなる。いかなる選手もそのような判定に抗議することはできない。もし、大会におけるジャッジの判断が本ルールブックの規定と矛盾していると合理的に考えられる場合、選手はその判定を不服とし、正しい裁定を下すよう求めることができる。その際抗議を行うための手続きは以下の通り。

- (a) CT 大会では、選手は抗議をするためにツアー&コンペティション部門に連絡しなければならない。ツアー&コンペティションオフィス は、WSL ヘッドジャッジ と共に、選手が抗議事項を確認するための時間と場所を手配する。WSL ヘッドジャッジは、最大 30 分間、選手と抗議の問題について話し合う。WSL ヘッドジャッジは、抗議された事柄を検討し、最終的な判断を下す。抗議された問題についての更なる検討は行われぬ。
- (b) CS, QS, WLT, LQS, WJC とすべてのリジョナルジュニア大会においては
 - (i) 選手は、ビーチマーシャルにあるプロテストシートに必要事項を記入しなければならない。
 - (ii) 選手は記入したプロテストシートをビーチマーシャルに提出しなければならない。
 - (iii) ビーチマーシャルは、WSL ヘッドジャッジにプロテストシートを提出する。
 - (iv) WSL ヘッドジャッジは、そのプロテストについて、その選手とその日の終わりに 30 分以内で協議する。
 - (v) WSL ヘッドジャッジは、その抗議を検討し、最終的な判断を下す。これ以上、抗議を検討することはない。

10.08 アナウンス

- (a) ビーチコメンテーターは、セットの接近をアナウンスすることはできない。
- (b) ヘッドジャッジは、テレビクルーなどがインタビューをしている間の無音状態を無効にする権利があり、インタビュー中でもタイムコールやヒート状

況をビーチコメンテーターにコールするよう指示することができる。大会では、音の静かな場所にインタビューエリアを設けることが必須(どの大会でも、ビーチでのインタビューはスピーカーの近くで行われるべきではない)。水中の選手とのコミュニケーションと、このルールブックの順守が常に優先される。

- (c) ヒート中、ビーチコメンテーターは、すべてのジャッジのスコアがシステム入力し終わるまで、選手のスコアやライドの基準値をアナウンスしてはならない。
- (d) スコアとヒート状況は、そのヒート全体を通して常にアナウンスされなければならない。
- (e) ジャッジが間違っただけを入力するか、ビーチコメンテーターが間違っただけをアナウンスしてしまった場合、選手にはプロテストの権利はない。
- (f) ヒート中、選手が水中から情報を得る必要がある場合、以下のようにハンドシグナルを使用しなければならない。
 - (i) スコアやヒートの状況(最終スコア、ヒートスコア、勝利に必要なスコア)の時は選手は頭の上に片腕をあげる。
 - (ii) 残り時間は、片方の手がもう片方の手に頭の上で触れている状態。
 - (iii) プライオリティ順位は両腕を頭の上にあげる。

10.09 選手キャディー規定

- (a) 選手は、競技用ジャージを受け取る前に、ビーチマーシャルにキャディーを登録しなければならない。そのキャディーは WSL の現在の規律や命令の対象になってはならない。その重要性については、規則 14.09 を参照。
- (b) 選手のキャディー(選手 1 人につき最大 1 人)は、入水することが許可されていないところ以外は、選手のボードが無くなったり、壊れたときに入水できる。
- (c) ウォーターキャディーは、マーシャリングエリア内であれば WSL ヘッドジャッジが適切と判断した場合入水することができる。
- (d) ジャッジパネルが選手のキャディーが (1) 波に乗る、または (2) 他の選手にインターフェアしたとみなした時は、そのキャディーを使用している選手に対して 1 本ごとに罰金が科せられる、あるいはインターフェアペナルティが科せられる。
- (e) 全てのキャディーは、選手と同様に、このルールブックに従う。もしもそのキャディーが違反した場合、その選手に徴収を強制することができる。
- (f) 選手は、ヒートスタート後は自分のキャディーの運んできた交換用のサ

ーフボードのみを使用できる。

- (g) 選手がサーフボード以外の道具(例:ゴムボート、ウォーターパトロール用のボードやジェットスキー、カメラマン用のボード、あるいは前ヒート、または現ヒートの選手または他のキャディーのボードなど)を使用した後、競技エリアに再度入り、波に乗ったり、パドリングやポジショニングによって他の選手を邪魔すると、インターフェアとみなされる。

上記にかかわらず、ウォーターパトロールが、選手が生命にかかわる危険な状況にあると判断した場合、その選手をインパクトゾーンから離し、テイクオフゾーンから離れた安全な場所へ移動することができる。選手はそこからヒートを継続することができる。

- (h) キャディーをしている選手にボードを渡したキャディーは、PWC が使用可能であれば、流れたサーフボードのある場所やビーチへの移動に使用することができる。流れたサーフボードのある場所まで移動した場合、マーシャリングエリアまで PWC で戻ることができる。ただし、ビーチまで移動した場合は、キャディーのマーシャリングエリアまでパドルで戻らなくてはならない。
- (i) 選手がキャディーをつけないことを選択した場合、予備のサーフボードに交換するために、ビーチまたはボートに戻らなければならない。
- (j) 選手はこのルールブック内の PWC が許可されているとき以外は、一切の他の支援を受けず、テイクオフゾーンに自力に戻らなければならない。
- (k) ヘッドジャッジは大会開始時に、すべてのキャディーに対して厳守しなければならない行動とルールブックの規約を設定することができる。

10.10 電子コーチング 選手は競技エリア内では、WSL ツアー代表者以外のいかなる情報源からの電子通信の受信を禁止されている。

10.11 承認された用具

- (a) ツアー&コンペティションオフィスは、選手に対して、安全上、または他の理由にかかわらず、ツアー&コンペティションオフィスが指定した用具使用を要求する権利を有する。上記にかかわらず、特定のブランドのサーフボードやリーシュを使用することを要求する権利はない。いかなる場合においても、公正な競争とスポーツの最善の利益が優先される。
- (b) WSL ツアーディレクターは、使用する用具に関する指示に選手が従わない場合、ディレクターの裁量で、選手を得点対象外にしたり、得点や結果を失効したりすることができる。選手は、大会出場中、特定の用具の使

用を拒否されることがある(例: SUP、パドル、サーフスキーなど)。

10.12 競技の不履行: CT 以外の大会において、ヘッドジャッジ、WSL ツアー代表者、選手代表の過半数が競技続行に同意しているにもかかわらず、選手が競技を拒否した場合、第 14 章に従い、ペナルティが科せられる。誰も出場選手がいらない場合、最高位シードの選手が次のラウンドへ進む。ヒートは選手が水の中に居る、居ないに関わらず、予定通り行われる。

10.13 競技の服装

- (a) 選手に対して、競技ゼッケン以外は、競技中であっても表彰式であっても、いかなる服装をも強いることはできない。
- (b) 選手は WSL から提供された競技ゼッケンを、ヒート終了後ビーチマーシャルに戻るまで着用していなければいけない。もしも適切であればヒート終了後のインタビューや表彰式の時にも着用する。
- (c) 国旗、タオルなどで競技用ゼッケンを隠すことは許されない。
- (d) 選手は、表彰式ステージにサーフボードを持ち込むことができる。ただし、そのようなサーフボードは選手が横に置くこと。
- (e) 選手はアパレル、用具、またはアクセサリースポンサーなどから提供された ウェットスーツ、シューズ、フットウェア、サングラス、時計を表彰式で着用することができる。但し、そのような物品が当該スポンサーのビジネスの善意の一部であることを条件とする。また、WSL が承認した場合には (保留される場合がある)、個人スポンサーのブランドがついたキャップや他のヘッドウェアを着用、あるいはドリンクボトルを携帯することができる。

10.14 追加のイベントの義務

- (a) すべての大会、会議等は、大会会場の近くで、合理的な時間で開催されるものとする。
- (b) すべての大会は、少なくともすべてのファイナリストにトロフィーを提供しなければならない。
- (c) 全てのビーチマーシャルは、英語を話せる者でなければならない。
- (d) スコアボード-電子スコアボードを使用する場合、ツアー & コンペティションオフィスのガイドラインを遵守しなければならない。
- (e) 大会エリア
 - (i) 大会会場内はすべて禁煙とする。
 - (ii) 競技中は、選手エリア内または指定された VIP バーエリア以外での

アルコール類は禁止する。

- (iii) すべての大会では、競技エリアが見渡せ、ヒート準備のための十分なスペースが確保され、安全で広々とした選手エリアが必要。選手エリアの最大収容人数に対して、十分な無料の飲料水が提供されなければならない。食事は大会会場内または周辺で入手できることが必要。
- (iv) 選手エリアは、選手と 1 名のサポートスタッフが利用できるものとする。
- (v) 選手は、サポートスタッフの行動に対して責任を負う。
- (vi) 大会は、競技エリアを選手専用競技開始 1 時間前から使えるようにあらゆる合理的な努力を払わなければならない。
- (vii) 駐車許可証は、CT 大会においては全ての CT 選手に、CT 以外の大会においては少なくとも男子上位 16 シードと女子上位 8 シードに使用できるようにすること。上記の上位 16 名または上位 8 名に使用されない駐車許可証は、次のランクの高い選手に与えるものとする。
- (viii) すべての WSL 大会は、WSL によって決定された適切な宿泊施設（大会会場近くの宿泊施設に 1 人1部屋）を、大会期間中 WSL が選んだスタッフに提供しなければならない。WSL ツアーディレクターは、WSL 渡航スタッフの宿泊施設の選択と承認に直接関与する。大会と協議した後、宿泊施設が WSL ガイドラインに準拠していない場合、WSL ツアーディレクターの判断で、WSL イベントプランナーに従って、適切な宿泊施設を見つけるよう試み、その費用は大会に請求される。宿泊施設の詳細、ホテルの名称、住所、電話番号などは、大会開始の少なくとも 1 ヶ月前に WSL リージョンオフィスに提供される必要がある。
- (ix) WSL は、このルールブックに基づく義務が完全に遵守されない場合、イベントライセンサーに罰金を科す。科された罰金は、WSL の要求に応じてライセンスが提供される前に支払われなければならない。罰金が支払われるまで、大会がスケジュールに掲載されることはない。

10.15 水中カメラマン: 水中カメラマンのガイドラインは以下の通り。

- (a) WSL 大会では WSL 公認の水中カメラマンだけが水中に入ることができる。CT 大会での水中カメラマンの権限とアクセスは、WSL によって提供される。CT 以外の大会での水中カメラマンの権限とアクセスは サーフィンデ

イレクターによって提供される。

- (b) WSL 大会ではどのヒートでも、ラインナップでのカメラマンは最大 2 名まで許可される。
- (c) 競技エリア内における水中カメラマンの動きは、WSL ヘッドジャッジが管理し、ヘッドジャッジは独自の裁量で退去を命じることができる。

10.16 ダブルバンク:大会中にダブルバンクが使用される場合、WSL ツアーディレクター、WSL ヘッドジャッジ、選手代表の、時間内に大会を終了するために必要であるという同意が必要。

- (a) 2 つのバンクの間には少なくとも 100 メートルの「競技禁止区域」がなくてはならない。
- (b) 最低 3 人のジャッジパネル(すべてのジャッジのスコアがカウントされる)を使用しなければならない。

10.17 CT以外の大会における時間延長:CT 以外の大会の時間延長については、WSL が承認し、その時に大会に残っている選手の過半数が同意した場合にのみ許可される。大会側は、すべての選手に対して、期間延長の結果、適切な費用が発生した場合、それらを支払う必要がある。延長できない選手はその到達したラウンドに相当するポイントおよび賞金を受け取る事ができる。

10.18 CT 以外の大会のキャンセルまたは延期(不可抗力または競技用波不足の場合)CT 以外の大会のベントライセンサーが大会開催予定日から 60 日以内に日程の変更および/またはキャンセルを行う場合、イベントライセンサー(WSL ではない)は、やむを得ず発生したすべての費用を負担する責任がある。これらの中には選手、オフィシャル、WSL スタッフの航空券及び宿泊施設の再スケジュール、キャンセル費用も含まれる。

10.19 CT 以外の大会による不可抗力または競技用の波不足のためによる大会キャンセルまたは延期

- (a) WSL イベントライセンス契約における不可抗力条項に抵触せず、不可抗力または競技用の波の不足により大会がキャンセルされた場合、以下が適用される。
- (b) 競技が開始されていない場合 - 何らかの理由で延期された場合
 - (i) 選手への賞金の支払いは行われぬ。
 - (ii) エントリー費を支払った全ての選手には、そのエントリー費は返金されない。

- (c) 競技が開始されていない場合 - 不可抗力による中止、または波がない場合
 - (i) エントリー費を支払ったが、賞金が保証されない全ての選手は、エントリー費が返金される。
 - (ii) エントリー費を支払った、賞金を保証されたシード選手は、(x)最低賞金額、または(y)エントリー費のどちらか大きいほうの金額が受け取れる。
- (d) 競技は開始されたが、まだ最初のマネーラウンドが行われていない場合 - 不可抗力による中止、または波がない場合
 - (i) 選手はその時点での成績に適用されるポイントを受け取る。
 - (ii) 出場して負けた選手にはエントリー費の返金はない。
 - (iii) 負けてはいないが、賞金が保証されていない選手には、エントリー費の返金が行われる
 - (iv) エントリー費を支払った、賞金を保証されたシード選手は、(x)ミニマムの賞金額、または、(y)エントリー費のどちらか大きいほうの金額が受け取れる。
- (e) 競技が開始されたが、マネーラウンドが完了しなかった場合 - 不可抗力による中止、または波がない場合
 - (i) 勝ち進んだ選手は、未完のラウンドで次に進まない最高位の順位に適用されるポイントを獲得する。ただし、賞金は次のラウンドの金額が適用される。
 - (ii) 敗退した選手は、そのラウンドに適用されるポイントと賞金を受け取る。
 - (iii) まだ出場していない選手は、未完のラウンドで次に進まない最高位の順位に適用されるポイントと賞金を獲得する。
- (f) マネーラウンド終了後、不可抗力による波不足で大会がキャンセルされた場合、大会に残っている全ての選手には、進出したラウンドの最低順位に応じたポイントが与えられる。

10.20 大会における選手の死亡または身体傷害

選手が死亡(競技中ではない)、または障害を負った場合、WSL は大会に残っている全ての選手と話し合い、ツアー&コンペティションオフィス(またはその代理人)によって、大会が継続されるか中止されるかを決定する。もしも選手がヒート中に死亡した場合、その大会はキャンセルされ、不可抗力事象とみなされる。大会がキャンセルされた場合、ルール 10.19 が適用される。

第 11 章: プライオリティ&インターフェアランス

11.01 プライオリティ&インターフェアランスルールの適用

- (a) 本章のルールは、他の章に特別な記載がある場合を除き、すべての WSL 大会に対して適用される。
- (b) インターフェアのペナルティは、ジャッジの過半数が、ジャッジシートにインターフェアのマークを付けたときのみ課せられる。
- (c) ヘッドジャッジは(見ていなかったジャッジが判定できないなどのため)、過半数が成立しなかった場合でも、インターフェアのペナルティを課することができる。
- (d) プライオリティや計時など、競技に関して、不測の事態が発生した場合、リサーフも含め、解決策は以下によって決定する。
 - (i) CT イベントの場合: WSL ヘッドジャッジおよび/またはツアー & コンペティションの代表が関係者と協議の上、決定する。
 - (ii) CT でないイベントにおいて: WSL ヘッドジャッジが WSL ツアー代表、コンペティションディレクターまたはその他の関係者で協議の上、決定する。

11.02 オーバーラッピングヒート: 大会においてオーバーラップヒートが実施される場合

- (a) 個々のヒートで、2 人プライオリティルールが適用される。ヒートごとに別々に表示、アナウンスされる。
- (b) 先にスタートしたヒート(以下「ファーストヒート」)の選手には、ラインナップに対してどの位置にいるかにかかわらず、無条件に他のヒート(以下「セカンドヒート」)の選手に対しての優先権を持つ。
- (c) インターフェアの罰則は、個々のヒートおよび、他のヒートのいずれかの選手に対してインターフェアした選手に課せられる。
- (d) 選手が他のヒートのいずれかの選手に対して意図的なスポーツマンシップに反する妨害をした場合、インターフェアした選手に対して、たとえその選手が無条件に優先だったとしても、ジャッジはインターフェアランスペナルティを課することができる。その場合、インターフェアランスペナルティ 2 が適用される。(11.17 (a)参照)
- (e) もしもセカンドヒートでプライオリティを持つ選手がファーストヒートの選手

と一緒にパドルして、ファーストヒートの選手が波をとらえた場合、そのセカンドヒートの選手は、セカンドヒートでのプライオリティを失わない。

(f) ルール 10.02(e)および(f)に基づくリスタートはない。

ノンプライオリティルール

11.03 ノンプライオリティ状況での優先権

- (a) ノンプライオリティの状況では、奥(波のピークに近いほう)にいると判断された選手がそのライディング中、最後まで無条件にライディングの優先権を持つ。そのライディング中、ほかの選手がその波の優先権を持つ選手の得点の可能性を妨げたとジャッジの過半数が判断した場合、インターフェアがコールされる。インターフェアの例としては、過度なハスリングやリーシュを引っ張るなどが含まれる。この場合、インターフェアランスペナルティ1が適用される。
- (b) 「ノンプライオリティ状況による優先権」に関するルールの中で、各状況における優先基準の選択は WSL ヘッドジャッジ、またはその場にいる最上級の WSL ジャッジの責任で行う。
- (c) これらの状況での優先権は、コンテスト会場の波の特徴によって下記のように若干変化する。基本的に、波がライトかレフトかによって、どちらの選手が奥に位置するかを判断するのは各ジャッジの責任であり、どちらの選手が先に立ち上がったかで判断することはない。

11.04 **ポイントブレイク:**ライディング可能な方向が1つしかない場合、奥にいるサーファーがその波において無条件に優先権を持つものとする。

11.05 **リーフまたはビーチブレイク - ワンピークの場合:**ワンピークでライトもレフトもあり、テイクオフの時点でどちらが優位と判断できない場合、その権利は、最初に選択した方向に確実にターン(明確にライト、またはレフトへのターン)をした選手に優先権が与えられる。他の選手が同じ波で反対方向に進む場合、優先権を確立した選手の進路を妨害しないことを条件として、ペナルティは受けない。(例:反対方向に進む場合、最初の選手の進路をクロスしてはならない。優先の選手の進路の妨げにならないと過半数のジャッジが判断した場合)。

11.06 **リーフまたはビーチブレイク - マルチピークの場合:**複数のランダムなピークがある時の進路の権利は個々の波の性質によって、若干異なる場合がある。

- (a) 2つのピークがある場合、ひとつのスウェルで2つのピークがあり、最終

的にどこかでブレイクが合流するような波の場合。2 人の選手がそれぞれのピークで奥を取っているときには、先にテイクオフした選手が優先権を持ち、2 番目の選手はカットバックまたはキックアウトして優先の選手を妨害しないよう、進路を譲らなければならない。

- (b) 2 人の選手が 2 つの別々のピークで同時にテイクオフ、それらが最終的に合流する場合は、
 - (i) 両者がカットバック、またはキックアウトすることによりどちらにも支障がない場合はインターフェア無しとする。
 - (ii) 互いに衝突したり、進路を妨げたりした場合、どちらか一方または両者に合流点で攻撃性が見られた場合、インターフェアがコールされる。この場合インターフェアランスペナルティ1を適用する。
 - (iii) どちらの選手も進路を譲らず、対立の責任を両者が共有する場合、両者がインターフェアとなり、インターフェアランスペナルティ1を受ける。

11.07 “スネーキング”

- (a) テイクオフの最初の地点で最も奥にいる選手のその波に対する権利は、その後、他の選手がテイクオフしても、その波に乗っている間継続するものとする。他の選手が後ろからテイクオフし、その前にいたとしても、優先権を持っているため、インターフェアはコールされない。
- (b) もしも 2 人目の選手が最初の選手の進路を妨げていない場合は、ジャッジはインターフェアをコールしない選択ができ、両選手の各ライドに対して採点する。
- (c) ジャッジの見解として、2 人目の選手が最初の選手を妨害(スネーク)したことで優先権を持つ選手をプリアウトさせたり、波を失ったりさせた場合、インターフェアをコールすることができる。2 番目の選手は、たとえその時最初の選手より後ろにいたとしても ペナルティが課される。この場合、インターフェアランスペナルティ 1 が適用される。

11.08 パドリングインターフェアランス

- (a) 同じ波に向かってパドリングしている選手は、奥にいる他の選手を過度に妨げてはならない。
- (b) 以下の場合、インターフェアがコールされることがある。
 - (i) 選手が奥の選手に接触して、その選手を妨げ、結果奥の選手が波をとらえるためのパドリングのラインを変更しなければならなくなり、得点の可能性がなくなった場合。

- (ii) 通常ではありえないような、奥の選手の前で明らかにセクションを破壊し、スコアリングの可能性を失わせた場合。
- (iii) この場合、インターフェアランスペナルティ1を適用する。
- (c) パドルアウトしている選手とライディングをしている選手が衝突またはニアミスした場合で、ライディングをしている選手の得点に悪影響を与える場合(ジャッジの過半数が、衝突やニアミスが現在のヒート結果に得点的な影響を与えない波で起こったと判断した場合、インターフェアコールはない)以下の事が適用される。
 - (i) パドルアウトしている選手が、ライディングをしている選手のラインから逃れるべきがない場合、インターフェアコールはない。
 - (ii) パドルアウトしている選手が誤って波に乗っている選手と衝突またはニアミスした場合、ジャッジの多数決でインターフェアをコールすることができる。インターフェアをコールするかどうかの判断においてジャッジは、選手の安全と、回避のための位置取りの努力を考慮する。インターフェアランスがコールされた場合、インターフェアランスペナルティ1が適用される。
 - (iii) ジャッジの過半数が、パドルアウトしている選手がライディングをしている選手との衝突またはニアミスを故意に引き起こしたと判断した場合、パドルアウトしている選手に対してインターフェアランスペナルティ2が課せられる。
 - (iv) ジャッジの過半数が、ライディングしている選手がパドルアウトしている選手と故意に衝突を引き起こしたと判断した場合、ライディングしている選手にインターフェアランスペナルティ2が課される。これらのようなインターフェアをした選手は、追加のルール 14.02 に基づく制裁の対象となる。

プライオリティルール

11.09 プライオリティシステムを使った優先権について

- (a) プライオリティが適用されるヒートでは、プライオリティシステムによって、その時、どの選手が優先的に波に乗ることができるのかが決まる。プライオリティを持つ選手は、無条件で優先権を持ち、どの波に対してもパドルし、乗ることができる。他の選手は以下の条件にあてはまらなければ、同じ波に対してどの方向にもパドルし、乗ることができ、得点も得られる。
 - (i) 優先権を持つ選手の得点の可能性を妨げる。

- (ii) 優先権を持つ選手が波に乗っているか、またはキャッチする途中であるかに関わらず、その前を横切る、あるいは周辺でボトムターンをする。
- (b) 優先権を持たない選手が規則 11.09(a)に従わない場合。インターフェアランスペナルティ 2 が課される。
- (c) インターフェアコールを受けた場合、その選手はプライオリティを失う。プライオリティジャッジは、そのヒートの出場選手の新しい優先順位を決定する。

11.10 一般的な優先順位

- (a) 優先順位が確立される前は、ノンプライオリティのルールがすべて適用される。
- (b) プライオリティジャッジは、選手ゼッケンの色に対応したプライオリティ表示装置を使って、優先順位を示す。微妙な判断に関しては、ジャッジパネルに相談することができる。すべての表示システムにおいて、垂直方向の場合、優先順位は上から下となり、横型の場合は左から右の順番になる。優先順位が確立されたら、常に優先順位を確認することは、選手自身の責任となる。
- (c) 選手が波に乗った時点で、またはその波に乗ろうとしてパドルをはじめたが、波に乗れなかった時点で優先権は失われる。
- (d) 以下の場合、2人以上の選手がいるヒートでは、ルール 11.10(c)は適用されない。選手が
 - (i) 優先順位の高い選手と並走してパドリングし、優先順位の高い選手が波をキャッチした場合。
 - (ii) 優先順位の高い選手に、パドリングまたはポジショニングでブロックされた場合。
- (e) 奥にいる選手が 2 番目または 3 番目の優先順位を持ち、優先順位の高い選手が波に乗り遅れた場合、奥にいる選手は自動的に高い優先順位となる。したがって、彼らもパドルしたが、波に乗り遅れた場合は、優先権を失う。つまり、波が 1 本だけ通過し、優先順位表示が変わる十分な時間がなかった時でも、両者ともに優先権を失うケースがある。

11.11 ノンプライオリティでの「ブロッキングルール」: プライオリティジャッジが存在する全ての大会において、以下の場合、その時点で奥に位置する選手に最も低いプライオリティが、適用される。

- (a) 波に対してコミットしたパドリングを行い、他の選手が波を捕らえるのをブ

ロックした場合。または

- (b) テイクオフゾーンにポジショニングし、他の選手がテイクオフするのをブロックした場合。

11.12 ノンプライオリティでの過度なハスリング

プライオリティジャッジがいるすべての大会において、プライオリティジャッジとヘッドジャッジの意見で、その選手が他の選手に対してラインナップへのパドリング時に、過度なハスリングやブロック、またはそれを妨害したりした場合に、その選手はその時点で最も低い優先順位が割り当てられる。また、その行為が攻撃的とか、スポーツマンらしくない場合は インターフェアランスペナルティ 1 が課されることがある。また、ルール 14.02 に基づく追加の制裁の対象となる。

11.13 プライオリティ下での「ブロッキングルール」

- (a) ヘッドジャッジ、またはプライオリティジャッジの判断により、優先権を持つ選手は以下の場合、優先権を失う。
 - (i) 非優先選手の前でパドリングし、故意に波をキャッチさせないようにする。
 - (ii) 他の選手が波に乗るのを防ぐために、テイクオフゾーンにポジショニングする。
 - (iii) 優先権を持つ選手が、得点する意図がないように見え、優先権を行使して相手の選手をパドリングやテイクオフでブロックするような場合、そのライディングの後で、どちらのサーファーが先にテイクオフゾーンに到着したかに関係なく、優先権が与えられる。
- (b) 優先順位の高い選手がテイクオフゾーンから外れてパドルする場合（奥に位置している場合も含む）には、その選手はテイクオフゾーンに再び入るまで、優先順位は一時停止される。選手がテイクオフゾーンに再び入らない場合、その選手は優先ではなくなり、プライオリティジャッジはそのヒートにおける新たな優先順位を決定する。選手がテイクオフゾーンを離れ始めたとき、PAシステムを通じて口頭で警告する。選手は口頭での警告に頼らず、そのイベントのプライオリティディスクを見ることで、常に優先順位を確認する必要がある。
- (c) インターフェアランスペナルティ 2 は、ジャッジパネルの過半数がその出来事を見なかった場合のみ、ヘッドジャッジが単独でコールすることができる。
- (d) すべてのケースにおいての判断、またはシステムの誤動作が原因で議論が発生した場合、オフィスオブツァー&コンペティション(CT 大会)、ま

たは WSL ツアー代表 (CT 大会以外) が WSL のヘッドジャッジとプライオリティジャッジで解決策を協議する。この中にはリサーフも含まれる。

- (e) プライオリティジャッジが誰が先にテイクオフゾーンに到達したと判断するかで、優先を決める選手の位置関係が決まる。もしも選手がテイクオフゾーンに同時に到達したと見えた場合、プライオリティは最後にプライオリティを持っていなかった選手に与えられる。
- (f) ヒートが終了すると、すべてのプライオリティは停止する。ヒート終了時に選手がライディング中である場合は、どの選手からもインターフェアを受けない(ヒート終了前にその選手がより高いプライオリティを持っていたとしても)。もしもインターフェアランスが起きたときはインターフェアランスペナルティ 2 が課せられる。
- (g) PWC のアシストがある場合、2 名の選手を同時に搬送する場合のプライオリティの配分は、ピックアップとドロップオフの両方を考慮した上でプライオリティジャッジが決定する。選手をラインナップに戻す際、PWC は相手を追い越すことはできない。
- (h) ヘッドジャッジまたはプライオリティジャッジが、PWC パイロットの能力または機械的な問題により、プライオリティに影響があったと判断した場合は、ヘッドジャッジまたはプライオリティジャッジが適切と考える方法でプライオリティが割り当てられる。
- (i) 選手が無許可の PWC のアシストを使用した場合、その選手は自動的に最下位のプライオリティになる。
- (j) ヒートスタート前に波に乗るか PWC のアシストを受けた場合、その選手はヒート開始後、そのヒートで最も低いプライオリティとなり、ルール 10.03 に基づくリスタート後もそれを維持する。
- (k) プライオリティジャッジの判断により、選手の用具が破損し、交換に向かう場合(腹ばいの状態で波に乗ることや、選手の安全のために PWC の使用を含む)、または選手がセットによってテイクオフゾーンから流された場合においては:
 - (i) その選手のプライオリティは一時停止され、その選手が「プライオリティ無し」であることが示される。そして
 - (ii) テイクオフゾーンにいたときの選手のプライオリティ(1 位、2 位など)は、テイクオフゾーンに戻れば元に戻すことができる。

11.14 2 人ヒートプライオリティ: 2 名の選手によるヒートのプライオリティはルール 11.11 と 11.13(j)に従い、以下のように機能する。

- (a) 選手がヒート開始前にその波に乗った場合(ルール 11.13(j)参照)、また

はその選手がヒートスタート前に競技エリアにいない場合を除き、ヒートがスタートしてどちらかが波に乗った場合、自動的にもう一人の選手にプライオリティが与えられる。

- (b) セカンドプライオリティを持つ選手がパドルして波に乗り遅れた場合でも、以下の条件を満たさない限り、そのプライオリティは失われない。
 - (i) 立ち上がろうとして手がレールから離れた場合、またはプライオリティジャッジの判断によりテイクオフゾーンの外でパドルした場合。
 - (ii) ファーストプライオリティの選手が波に乗り、セカンドプライオリティ選手より先にテイクオフゾーンに戻ってきた場合。
- (c) 割り当ては、プライオリティジャッジが誰が先にテイクオフゾーンに到達したと判断するかによる。選手が同時にテイクオフゾーンに到着したように見える場合、最後のプライオリティを持たなかった選手にプライオリティが与えられる。
- (d) 選手が遅れてヒート開始時にテイクオフゾーンに不在の場合、プライオリティジャッジの判断により、その選手がテイクオフゾーンに到着した時点でプライオリティが割り当てられる。

11.15 3 人ヒートプライオリティ: 3 名の選手によるヒートのプライオリティはルール 11.11 と 11.13(j)に従い、以下のように機能する。

- (a) 最初に波に乗った選手が 3 番目のプライオリティを得る(ファーストサーファー)。
- (b) ヒート中の残りの 2 人の選手はファーストサーファーより高いプライオリティを持ち、どちらかが波に乗るまでこのプライオリティを失うことなくパドルすることができる(セカンドサーファー)。
- (c) セカンドサーファーが波に乗ると、ヒートの最初のプライオリティは以下のように確立される。
 - (i) まだ波を掴んでいない選手が最優先。
 - (ii) 残りの選手はテイクオフゾーンに戻った順にプライオリティを得る。
 - (iii) ファーストプライオリティの選手は、他の両方の選手に対してプライオリティを持つ。セカンドプライオリティの選手は、サードプライオリティの選手に対してのみプライオリティを持つ。
- (j) 選手が遅れてヒート開始時にテイクオフゾーンに不在の場合、プライオリティジャッジの判断により、その選手がテイクオフゾーンに到着した時点でプライオリティが割り当てられる。
- (k) サードプライオリティの選手がパドルして波に乗り遅れた場合、以下の場合を除き、プライオリティを失うことはない。(i)立ち上がろうとし

て手がレールを離れた場合、または(ii)プライオリティジャッジの判断によりテイクオフゾーンの外側でパドリングした場合。

11.16 4 人ヒートプライオリティ: 4 名の選手によるヒートのプライオリティはルール 11.11 と 11.13(j)に従い、以下のように機能する。

- (a) 最初に波に乗った選手が 4 番目のプライオリティを得る(ファーストサーファー)。
- (b) ヒート中の残りの 3 人の選手はファーストサーファーより高いプライオリティを持ち、誰かが波に乗るまでこのプライオリティを失うことなくパドリングすることができる(セカンドサーファー)。
- (c) ヒート中の残りの 2 人の選手はファースト、セカンドサーファーより高いプライオリティを持ち、誰かが波に乗るまでこのプライオリティを失うことなくパドリングすることができる(サードサーファー)。
- (d) 3 人目の選手が波に乗ると、ヒートの最初のプライオリティは以下のように確立される。
 - (i) まだ波を掴んでいない選手が最優先。
 - (ii) 残りの選手はテイクオフゾーンに戻った順番にプライオリティを得る。
 - (iii) ファーストプライオリティの選手は、他の全選手に対してプライオリティを持つ。セカンドプライオリティの選手は、サードプライオリティとフォースプライオリティの選手に対してのみプライオリティを持つ。サードプライオリティの選手はフォースプライオリティの選手に対してのみプライオリティを持つ。
- (e) 選手が遅れてヒート開始時にテイクオフゾーンに不在の場合、プライオリティジャッジの判断により、その選手がテイクオフゾーンに到着した時点でプライオリティが割り当てられる。
 - (1) フォースプライオリティの選手がパドルして波に乗り遅れた場合、以下の場合を除き、プライオリティを失うことはない。
 - (i) 立ち上がろうとして手がレールを離れた場合、または
 - (ii) プライオリティジャッジの判断によりテイクオフゾーンの外側でパドリングした場合。

11.17 インターフェアランスペナルティ

- (a) インターフェアランスペナルティは次の通りである。
 1. インターフェアランスペナルティ 1: インターフェアを行った選手の 2 番目に高いライディングのスコアを半分にする。
 2. インターフェアランスペナルティ 2: インターフェアを行った選手の 2 番

目に高いライディングのスコアを 0 としてカウントする。

3. インターフェアランスペナルティ 3: インターフェアを行った選手の最高得点のライドを 0 点としてカウントする。
 4. 失格: その選手はそのヒートから失格となる。
- (b) プライオリティ状況下においてインターフェアランスがコールされた場合、インターフェアランスペナルティ 2 が適用される。上記にかかわらず、CT およびチャレンジャーシリーズ大会においてのみ、ヒートの最後 5 分間で選手が得点となりうるライド(例; ジャッジがそのライディングがベスト 2 のカウントに入っただろうと判断した場合など)でインターフェア(ドロップイン、パドリング、ブロッキングなど)が行われたときは、インターフェアランスペナルティ 3 を適用する。この違反はルール 11.20 の違反の自動的な適用を意味するものではない。ジャッジの過半数が最後の 5 分間のインターフェアが故意によるものであると判断した場合、その妨害した選手は失格となる。
- (c) ノンプライオリティ状況下において、インターフェアランスがコールされた場合、インターフェアランスペナルティ 1 が適用される。
- (d) パドリング中、またはライディング中にインターフェアランスコールを受けた場合、そのライディングは 0 点となる。
- (e) インターフェアランスはジャッジシートに三角印で表示される。
- (f) インターフェアを犯した選手は例外なくペナルティを受ける。インターフェアランスコールがジャッジにより下され、その判定が、不正確な技術(ビデオ・オーディオなど)に基づいて決定されたとヘッドジャッジが判断した場合に限り、ヘッドジャッジは判定を修正することができる。他のジャッジはインターフェアランスコールに関する議論はしない。
- (g) ノンプライオリティヒートでは、インターフェアを受けた選手は、規定の時間内のマキシмумウェーブに加えて追加のウェーブを許可される。ダブルインターフェアが発生した場合、どちらの選手も追加ウェーブを得ることはできない。WSL ヘッドジャッジが決定した追加ウェーブやヒートの延長は、水中フォトグラファー、ウォーターセキュリティースタッフ、その他の外部からの妨害にも適用される。
- (h) 選手が 2 つのインターフェアランスペナルティを受けた場合は、その選手は直ちに競技エリアから退出しなければならない(退出しない場合は、ルール第 14 章に従った罰則が適用される)。そして、
- (i) 両方のインターフェアがノンプライオリティの状況下にある場合、インターフェアランスペナルティ 1 が両方に適用される。
 - (ii) 一方のインターフェアランスがノンプライオリティ状況下、他方がプラ

イオリティ状況下である場合、順番に関係なく、選手の最高得点のライドにインターフェアランスペナルティ1が適用され、2番目に高いスコアのライドにインターフェアランスペナルティ2が適用される。

(iii) インターフェアランスペナルティの両方がプライオリティ状況下である場合、またはCTおよびチャレンジャーシリーズイベントにおいてインターフェアランスペナルティのうち1つだけがヒートの最後の5分間以内である場合(11.17(a)のルールを参照)、その選手はそのヒートから失格となる。

(i) インターフェアの選手が、関係する他の選手に対してプライオリティを確立していない場合、ヒート内の他の選手(インターフェアに関係していない)がプライオリティを持つかどうかに関わらず、インターフェアランスペナルティ1が適用される。このルールは1対1ヒート、3人ヒート、4人ヒートに適用される。

11.18 プライオリティ状況下での過度なハスリング :プライオリティジャッジとヘッドジャッジの見解において、プライオリティを持つ他の選手に対して、スポーツマンシップに反する過剰なハスリングを行った場合、インターフェアランスペナルティ2を適用することができる。これは直ちにルール11.17(b)の違反を意味するものではないが、ルール14.02に基づく制裁を含む場合がある。

11.19 プライオリティの使用 :ライオリティの使用:プライオリティジャッジまたはヘッドジャッジの見解として、選手がテイクオフゾーン外でプライオリティ順位の低い、または持っていない他の選手に対して、スポーツマンシップに反する方法で故意にブロックした場合、インターフェアランスペナルティ2が適用される。本規則の違反は直ちにルール11.20の自動的な適用を意味するものではない。

11.20 重大なスポーツマンシップに反するインターフェアランス:ヘッドジャッジとツアー&コンペティション責任者が、試合中の妨害が故意または非スポーツマン的であり、他の選手に怪我をさせる結果となったと判断した場合、ルール14.09に基づくすべてのペナルティ(イベントまたはツアー全体の出場停止を含む)が適用可能で、加えて関連するツアーでのランキング計算時にベストイベントのカウントをカットする(例えば、QS/チャレンジャー大会でこのルールに違反した場合、QSランキングに影響が出る)。さらに、ヘッドジャッジがこのルールに言及されているサーファーの行為によって結果に影響を受けたと判断した場合、問題のヒートをリサーフすることができる。

11.21 未承認の交通手段の使用 :サーファーがブレイクに行くのを助けるためにヒート中にビーチを移動する場合、スケートボード、スクーター、車、自転車など、外部からの補助を使用した場合、またはブレイクに戻るためのジェットスキーやボートなどを使用した時は(WSL が提供し許可した場合を除く)インターフェアランスペナルティ 2 が課される。

- 13.01 **ジャッジの選定**: ヒートや大会の結果に既得権を持つ者は、WSL 大会でジャッジを務めることはできない。ツアー&コンペティションオフィスのみが、大会のジャッジの指名と交代を行う権限を有する。選手が既得権を持っているとして、ジャッジの辞任を要求した場合、ツアー&コンペティションオフィスがこれを審理し、処理する。
- 13.02 **ジャッジパネルの構成** : 各大会では、以下の構成のジャッジパネルを用意しなければならない。
- (a) **CT 大会**: インターナショナルヘッドジャッジ 1 名、採点をするインターナショナルジャッジ 7 名、インターナショナルプライオリティージャッジ 1 名。同じ地域、国からの採点をするジャッジの最大数は 3 人とする。各ヒートの採点は 5 人で行わなくてはならない。
 - (b) **チャレンジャーシリーズ 大会**: インターナショナルヘッドジャッジ 1 名、採点をするインターナショナルジャッジ 7 名、インターナショナルプライオリティージャッジ 1 名。同じ地域、国からの採点をするジャッジの最大数は 3 人とする。各ヒートの採点は 5 人で行わなくてはならない。
 - (c) **ワールドジュニアチャンピオンシップ大会**: インターナショナルヘッドジャッジ 1 名、採点をするインターナショナルジャッジ 7 名、インターナショナルプライオリティージャッジ 1 名。同じ地域、国からの採点をするジャッジの最大数は 3 人とする。各ヒートの採点は 5 人で行わなくてはならない。
 - (d) **QS5000 大会**: リージョナルヘッドジャッジ 1 名、採点をするリージョナルジャッジ 7 名、リージョナルプライオリティージャッジ 1 名。各ヒートの採点は 5 人で行わなくてはならない。
 - (e) **QS3000 大会**: リージョナルヘッドジャッジ 1 名、採点をするリージョナルジャッジ 最低 6 名、リージョナルプライオリティージャッジ 1 名。各ヒートの採点は最低 4 人で行わなくてはならない。
 - (f) **QS1000、リージョナルプロジュニア、リージョナルロングボード大会**: リージョナルヘッドジャッジ 1 名、採点をするリージョナルジャッジ 最低 5 名、リージョナルプライオリティージャッジ 1 名。各ヒートの採点は最低 3 人で行わなくてはならない。
 - (g) **メンズとウィメンズ大会の同時開催**: どちらかレーティングの高いほうのジャッジパネル構成に従う。
 - (h) **ロングボードワールドチャンピオンシップツアー大会**: インターナショナル又はリージョナルヘッドジャッジ 1 名、採点をするリージョナルジャッジ 7 名、リージョナルプライオリティージャッジ 1 名。各ヒートの採点は最低 5 人で行わなくてはならない。

- (i) エアーツアー: エアーツアーに関するジャッジパネルはインターナショナルジャッジ 3 人で構成される。
- (j) ビッグウェーブ大会: インターナショナルヘッドジャッジ 1 名、採点をするインターナショナルジャッジ 2 名、リージョナルジャッジ 3 名、各ヒートの採点は最低 5 人で行わなくてはならない。

13.03 **スプリットパネル:** 大会終了が危ぶまれるような例外的な状況では、3 人のジャッジによるスプリットパネルが使用されることがある。もしも、事前にスプリットパネルが使用されることが分かっている場合は(例えば、過剰なエントリー数のため)、WSL の承認が必要。そして、最低 4 名のジャッジパネルが許可される。

13.04 **ウェーブスコアリングスケール:** ライディングは 0.1~10.0(10 点)で採点され 10 分の 1 点刻みで採点する(例: 7.3)。

13.05 **審査基準:** (第 4 章 ロングボードおよび第 7 章 ビッグウェーブ大会には関係しない)

選手はスコアリングのポテンシャルを最大化するため、WSL ジャッジングの重要な要素に沿った演技をする必要がある。ジャッジはライディングを採点する際に、以下の主要な要素を分析する。

- コミットメントと難度の高さ
- 革新的で進歩的なマニューバー
- メジャーなマニューバーの組み合わせ
- マニューバーの多様性
- スピード、パワー、フロー

特定の要素に重点が置かれるのは、その日のコンディションや場所、また、その日の中でのコンディションの変化にも左右されることに注意をすることが重要。

ライディングの採点には、以下のスケールを使用することができます。

0-1.9 = プアー、2.0-4.9 = フェア、5.0-6.4 = グッド

6.5-7.9 = ベリーグッド、8.0-10.0 = エクセレント

13.06 **一般的なジャッジングルール**

(a) ジャッジは視覚的に分離される必要がある。ヘッドジャッジは、ジャッジ

がスコアやインターフェアランスコールについて議論しないようにする責任がある。

- (b) ジャッジは、コンピュータ端末上でも手動ジャッジングシート上でも、スコアやインターフェアランスコールを変更してはならない。間違いがあった場合、ヘッドジャッジに訂正を依頼する必要がある。
- (c) ジャッジがライドを、またはライドの一部を見逃した場合、マニュアルジャッジシートの該当箇所に“M”を記入しなければならない。ヘッドジャッジは、他のジャッジのライディングの点数をもとに、そのジャッジの以前の採点のスケールを考慮して、ミスしたライディングの点数をつける。
- (d) 競技に関して不測の事態が発生した場合（プライオリティ順や計時を含むが、これに限定されない）、リサーフを含む解決策は、以下によって決定されるものとする。
 - (i) CT 大会：WSL ヘッドジャッジおよび/またはツアー&コンペティションオフィス代表者は、その裁量で関係者と協議する。
 - (ii) CT 以外の大会において：WSL ヘッドジャッジは、WSL ツアー代表者、サーフィンディレクター、または他の関係者と協議する。
- (e) 一度決定されたジャッジング、スコアリング、またはヒート結果の決定は、ジャッジパネルの見解として、再評価を検討するのに十分な証拠がある場合のみ変更できる。リサーフまたはスコアの変更は、その時点のジャッジパネルによって検討される。ヘッドジャッジは、それが適切と判断された場合、ヒート中の選手の関与なしにリサーフを要求する権限を持つ。WSL ヘッドジャッジは、誰がリサーフするか、いつリサーフするかを決定する。ヘッドジャッジは、決定が行われる間、次のヒートまたはラウンドの開始を遅らせることができる。
- (f) WSL のジャッジパネルによって下された決定は、WSL ヘッドジャッジまたはツアー&コンペティションオフィスの代表者を通してのみ抗議することができる。いかなるコールや決定に関しても他のジャッジにはアプローチすることはできない（選手のサポートスタッフによるアプローチを含む）。抗議のプロセスはルール 10.08 を参照すること。
- (g) WSL 大会のジャッジは、選手の大会でのチャンス等について、一般の人々、メディア、あるいは他の選手に対しても、いかなるコメントもしてはならない。もしジャッジがこの規則に違反して、コメントをした場合、WSL との契約は、契約上あるいはその他の方法で WSL が持つその他の権利にかかわらず、直ちに見直される。

13.07 ジャッジ料

- (a) ジャッジへの最低支払額、及びその他のジャッジ料に関する情報は、

WSL イベントプランナーまたはイベントライセンス契約に記載されている通り。

- (b) CT、チャレンジャーシリーズ、WJC、BWT の全てのジャッジ料は、米ドルで支払われるものとする。

13.08 大会以外のイベントのジャッジ:大会期間中に行われる全てのイベントで、サーフィンに関連し、何らかの形で競技を行う時は WSL ジャッジによってジャッジされなければならない(各ジャッジが同意した場合)。その場合のジャッジ料は、イベント、ジャッジプランナーに記載されている。

13.09 WSL コンピュータスコアリングシステム

- (a) WSL によって規定されたコンピュータスコアリングシステムは、すべての WSL 大会において必須なものである。
- (b) コンピュータスコアリングオペレーターの勤務時間、料金、条件は、WSL が関連するイベントライセンス契約書またはイベントプランナーで説明するとおりである。

13.10 WSL ジャッジングエリア

- (a) 選手あるいはサポートスタッフは、特別なアクセスがツアー & コンペティションオフィスから許可されない限り、いかなる時もジャッジングエリアに入ることはできない。

14 章 WSL 行動規定

14.01 はじめに: 本規定は、大会に関わる、または大会に参加するすべての選手、サポートスタッフ、およびジャッジに適用される。すべての選手、サポートスタッフ、およびジャッジは、常にこのルールブックを遵守し、スポーツとしてのサーフィン、WSL、あるいはそのメンバー、役員、代表者、大会、あるいはスポンサーに悪影響を与えないよう、プロフェッショナルな態度で行動しなければならない。すべての選手は、WSL のアンチドーピングポリシーに従わなければならない。WSL のアンチドーピングポリシーの要件と、そのポリシーに違反した場合の制裁は、各ポリシーで示されているように、個別に対処される。

14.02 スポーツマンらしい行動 : 本規定に拘束されるすべての個人は、以下のよう
に行動しなければならない。スポーツマンらしい行動とは、以下のよう
に定義

されるが、それに限定されない。(i) WSL ツアーとイベントのスポンサー、ジャッジ、対戦相手、WSL の管理者、WSL の代表者、観客、メディアのメンバーまたその大会会場に居るすべての人々を尊重すること。(ii) イベント会場での施設と運営手順を尊重すること。(iii) イベント会場では、以下のことを控えること。

- (a) 一般的に軽蔑的、冒とく的、あるいは非常に不快であると一般的に理解されている行為、または性的な行為を示すような目に見えるジェスチャー
- (b) 卑俗な言葉、罵詈雑言の使用(言語を問わない)
- (c) 違法(例: 未成年)または過度のアルコール摂取
- (d) 違法薬物の使用
- (e) 意図的かつ故意的なヌードの表示、または露出。

これは、スポーツマンシップに反する行為を網羅するものではなく、一般的なガイドラインに過ぎない。いかなる者も本方針に拘束され、本規則に違反することが判明した者は、以下の処罰の対象となる。

(i) 罰金および失格。本規則の違反に対する罰金額は 1 回の違反につき 1,000 米ドルから 50,000 米ドルまで。

(ii) 資格停止および除名。本規則に基づく違反者は、最初の違反の時点で WSL ツアーの出場停止、また除名処分の対象となる。許容できない行為とみられる複数の違反が、1 シーズンまたはそれ以上の同時期に発生した場合、その選手は WSL ツアーの出場停止および除名の対象となることがある。

(iii) WSL アンチドーピングポリシーに違反する違法薬物の使用もまた、制裁の対象となる。

- 14.03 追加の行動規定:** 本規定に拘束されるすべての個人で、犯罪により有罪判決を受けた者、または刑事訴訟による処分の対象となった者(有罪判決、罪の告白、より軽い犯罪への罪状認否、不抗争答弁、ノーコンテストへの答弁、または、迂回プログラムによる前歴の処分、裁定猶予、または、繰延裁定による訴訟手続きの処分を含む)は、懲戒処分の対象となる。しかし、たとえその行為が刑事上の有罪判決に至らなかったとしても、このポリシーに拘束される個人が、(i) WSL の完全性と社会的信頼に有害な行為、または(ii) サーフィンというスポーツ、WSL、またはそのメンバー、役員、代表者、イベント、またはスポンサーに不利な影響を与える行為を行ったと判断されれば、処罰の対象となる。この規則の下で違反した者は、初犯の場合、WSL ツアーからの出場停止および除名処分の対象となる。

- 14.04 サーフインのイメージの損壊：** 本規定に拘束される個人は、サーフィンイメージを損なうような行為をしてはならない。この規則において「スポーツとしてのサーフィンのイメージダウン」とは、時間や場所に関係なく、サーフィンや WSL を否定的にとらえるような行為を指す。この規則の適用を制限することなく、「スポーツとしてのサーフィンに対する損害」には、サーファーが責任を負うソーシャルメディアアカウントからのコメントや放送が含まれる。本規則に違反していることが判明した場合は以下の懲罰を受けるものとする。
- (a) 罰金と失格。本規則の違反に対する罰金額は、1 回の違反につき 1,000 米ドルから 50,000 米ドルまでである。
 - (b) 出場停止および除名 このルールの下で違反した者は、最初の違反で WSL ツアーの出場停止および除名処分の対象となることがある。容認できない行為とみられる複数の違反が、1 シーズンまたはそれ以上の同時期に起こった場合、その選手は WSL ツアーの出場停止および除名処分の対象となる可能性がある。
- 14.05 公式 WSL 備品とサーフボード。** この規定に拘束される個人は、WSL の事前の承認なしに、公式の WSL 備品に改造や変更を加えてはならない。WSL の公式備品とはジャージ、WSL によって提供されるウェアラブルテクノロジー、そして将来 WSL が指定するその他の機器を意味する。誤解を避けるために明記すると、個人のサーフボードは、WSL の公式備品ではない。このポリシーに拘束される個人は、自分のサーフボードの画像や言葉に対して責任を負い、すべての場合においてこのポリシーの対象となる。疑惑を避けるために、いかなる場合においても、ポリシーに拘束される個人は政治家または政党の直接的な支持をサーフボードに含めることはできない。本ルールへの違反が発覚した選手は 以下の懲戒処分の対象となる。
- (a) 罰金と失格。本規則の違反に対する罰金額は、1 回の違反につき 1,000 米ドルから 50,000 米ドルまでである。
 - (b) 出場停止および除名 このルールの下で違反した者は、最初の違反で WSL ツアーへの出場停止および除名処分の対象となることがある。容認できない行為とみられる複数の違反が、1 シーズンまたはそれ以上の同時期に起こった場合、その選手は WSL ツアーの出場停止および除名処分の対象となる可能性がある。
- 14.06 ギャンブル、不適切な金銭的利益または関係、および贈収賄：** 本規定に拘束される個人は、以下のことを行ってはならない。

- (a) プロサーフィンに関連する、いかなる形式の賭け事、ベッティング、オッズの提供/取得、その他のギャンブルに参加すること(自分の代わりに賭けをするよう他人に頼むこと、または他人が行った賭けから金銭的な利益を得ること、またはそれを支援することを含む)。
- (b) ギャンブルを含む、プロサーフィンに悪影響を与える可能性のある活動をしている個人または組織と関係を持つこと。サーフィンのプロとしての品位に悪影響を与える可能性のある個人または団体との関わり合いを持つこと。
- (c) 違法なブックメーカーや違法なオフショアスポーツベッティングサイトやアプリケーションで行われる賭けを含む、スポーツやイベントに対する違法な賭けを行うこと。
- (d) 大会中の競技に影響を与える目的で、賄賂、ギフト、支払い、報酬、または価値のあるものを要求したり、受け取ったりすること。
- (e) 第三者のためにスポーツベッティングに関わるサービスを提供すること(スポーツベッティングに関するコンサルティングやアドバイス、スポーツベッティングの商品やサービスの広告、宣伝、推奨を含むが、これに限定されない)。
- (f) ベッティング市場でそのような情報を利用することを望む個人によって求められる可能性がある、選手又は WSL オフィシャルの機密情報を個人の立場を利用して金銭的利益を得ようとする事。
- (g) 調査中、WSL 規律ディレクターによる、あらゆる要求に協力しなかった場合。これはプロサーフィンに関連するギャンブル、賭け、または個人が受けた不当な利益に関する情報に特に関連する。
- (h) この規則 14.05 の違反を示す活動をできるだけ早く WSL 規律ディレクターに報告することを怠ること。

本ルールの規定に反する場合でも、無料でプレイできる「ファンタジーサーフィン」ゲームは、出場する選手またはツアー&コンペティションオフィスのスタッフ、ジャッジ以外は本ルールの違反とはならない。

本ポリシーに拘束される個人は、スポーツベッティングが合法である法域において、サーフィン以外のスポーツに合法的に賭けをすることができる。ただし、適用される法律の下で賭けを行う資格があるものとする。同様に、本規定に拘束される個人は、サーフィン以外のスポーツに関連する賭けを含む合法的なファンタジーゲームに参加することができる。

懲戒処分

- (a) ルール 14.05 によりプロフェッショナルサーフィンと WSL 競技の完全性に

信じ悪影響を及ぼす違反が認められた者は、利益を受けたかどうかに関わらず、違反行為から獲得できる最高額の 5 倍の金銭的罰金、さらに規律委員会の裁量で定められた罰金が科せられることがある。

- (b) 出場停止および除名。本ルールに違反したと認められた個人は 最初の違反で、大会または WSL ツアーからの出場停止および除名処分の対象となることがある。複数の違反が、1 シーズンまたはそれ以上の同時期に発生した場合で容認できない行為とみられる場合、その選手は WSL ツアーへの出場停止および除名処分の対象となる。
- (c) その他の適切な制裁措置と実質的な支援。本ルールの違反が判明した個人は、規律委員会がスポーツと競技の完全性を保護するために課すその他の適切な制裁措置の対象となることがある。最終的な制裁が決定される際には、個人から提供される実質的な援助が重要な要素となる。

14.07 ベストエフォート： すべての選手は、すべての競技において「ベストエフォート（最善の努力）」で競技を行うものとする。本ルールにおいて、「ベストエフォート」とは、すべての競技において、選手がその能力を最大限に発揮するための最大限の努力で競技に挑むことであると定義される。いかなる選手もあからさまに、かつ意図的に、競技中に最善の努力を行使しない場合は、本ルールの違反とみなされる。本ルールに違反した選手は、以下の懲罰を受ける。

- (a) 罰金および失格。あらゆる違反行為：最低 1,000 米ドル以上
- (b) 出場停止および除名。3回以上の違反が1シーズン又はそれ以上の同時期に発生した場合で容認できない行為とみられる場合、その選手は WSL ツアーへの出場停止および除名処分の対象となる。

14.08 言葉による攻撃： この規定の対象となるいかなる個人も、直接的または間接的に、WSL 役員、選手、大会スポンサー、WSL マネージメント、WSL 代表者、または メディアに対して、直接的または間接的に言葉による攻撃をしてはならない。大会期間中、指定された大会エリア内の観客やその他の人物も含まれる。このルールの目的上、前述の 1 人または複数に対しての口頭での攻撃は、危害を脅かす、恐怖を与える、不誠実を示唆する、軽蔑的である、冒瀆的である、あるいは非常に不快感を与える口頭での発言と定義される。これらの暴言に関与した者は、以下の懲戒処分の対象となる。

- (a) 罰金および資格剥奪。
 - 初犯：罰金 1,000 米ドル
 - 2 回目：同一大会で 2 回目の違反の場合、罰金 2,500 米ドルと失格また

は退場の可能性がある。

3 回目の違反: 同一大会、および 1 シーズンで 3 回目の違反があった場合、罰金 3,000 米ドルおよび、失格または退場の可能性がある。

- (b) 出場停止および除名。本ルール違反が 1 シーズンまたはそれ以上の同時期に 3 回あり、容認できない行為とみられる場合、その選手は WSL ツアーへの出場停止および除名処分の対象となる。

14.09 身体的暴行および相互戦闘: 本ルールの対象となるいかなる個人も、大会において、または大会に関連して、役員、大会スタッフ(ボランティアを含む)、選手、メディア関係者、観客、その他いかなる人物にも身体的暴行を加えてはならない(例: 大会期間中または大会会場近く)。本ルールにおいて、身体的暴行とは、あらゆる暴力または暴行と定義される。突き飛ばし、喧嘩、相互戦闘などは、すべて本規則の違反とみなされる。規律ディレクターが、完全に自己防衛のための行為であると判断した場合は、本ルールの違反として扱われない。もしも、そのことがすぐに ツアー&コンペティションオフィスの責任者またはヘッドジャッジが、どの個人が最初の加害者であるかを直ちに明らかにした場合、その個人は、そのイベントの残りの期間から失格となる。また、その選手が既に失格となっている場合は、次のイベントへの出場が停止される。身体的暴行に関与した個人は、懲戒処分の対象となる。

- (a) 罰金及び資格剥奪。

初犯の場合: 罰金 5,000 米ドル、そして自動的にイベントの残りの期間から失格となる。ただし、「相互戦闘」のような場合は失格を免除されることがある。

2 回目の違反: 罰金 10,000 米ドル、自動的にイベントの残りの期間から失格となる。

3 回目の違反: 罰金 15,000 米ドル、自動的にイベントの残りの期間から失格となる。

- (b) 出場停止および除名。このルールによる違反者は 初犯から WSL ツアーへの出場停止および除名処分の対象となる。複数の違反が、1 シーズンまたはそれ以上の同時期に発生した場合で容認できない行為とみられる場合、その選手は WSL ツアーへの出場停止および除名処分の対象となる。

14.10 差別、セクシャルハラスメント、または虐待: WSL は、プロサーフィンにおけるいかなる形態の差別、セクシャルハラスメント、または虐待に対して一切容認しない。このポリシーの対象となる個人がプロフェッショナルサーフィンに関

連するいかなる方法でも、差別、セクシャルハラスメント、または虐待に関与した場合、以下の懲戒処分の対象となる。

- (a) 罰金および資格剥奪。本規則の違反に対する罰金額は、1 回の違反につき 1,000 米ドルから 50,000 米ドルの範囲とする。
- (b) 出場停止および除名。このルールによる違反者は 初犯から WSL ツアーへの出場停止および除名処分の対象となる。複数の違反が、1 シーズンまたはそれ以上の同時期に発生した場合で容認できない行為とみられる場合、その選手は WSL ツアーへの出場停止および除名処分の対象となる。

14.11 その他の違反と罰則:以下の表は、第 14 章の他のルールで明記されていないその他の違反の一般的なガイドラインである。ただし、以下の違反の中には ルール 14.02 またはルール 14.03 の違反とみなされるものもある。そのような場合、違反に対する罰則のいずれか重い方の罰則を適用する。ガイドラインの後に「*」が付く違反は、出場停止や除名が考えられる重大な違反であることを示す。また、違反の重大性または反復性を考慮し、出場停止および除名が可能であることを示す。

違反の内容	罰金／懲戒処分(単位:米ドル USD)
サーファーのキャディが波に乗った場合	波 1 本につき \$500
ファイナリスト、セミファイナリストが要請のあった大会表彰式に出席しなかった場合	\$1,000
前後のヒート中にサーフィンした場合	波 1 本につき \$500
競技開始前 2 分間警告を受けても競技エリアを離れなかった場合	\$500
要請のあった記者会見(ヒート後も含む)に出席しなかった場合	\$2,000
CT 大会において第 1 ラウンドの出場/チェックインをしなかった場合	\$5,000
要出席の選手ミーティングに出席しなかった場合(CT シードのみ)	\$1,000

CT 選手のオリエンテーションに出席しなかった場合	\$5,000 言い訳や裁量の余地はなく、これは管理上の罰金であり、CT サーファーのオリエンテーションミーティングに出席しなかった選手に自動的に適用される
インターフェアランスを2回行った後も選手が競技エリアにとどまった場合	\$1,000
必要なチャレンジャーシリーズ大会の出場義務に従わない場合、ルール 1.11(c)を参照。競技に出場しないということは、優勝するまで、あるいは負けるまで競技を継続しない事も含む	\$10,000 1度目の違反 \$25,000 まで 2度目の違反 3度目の違反については規律ディレクターの決定
大会および大会会場での用具(自己の用具を含む)の破壊。ただし、選手がロッカールームでサーフボードを破損、損壊した場合は罰金なし	\$1,000 1度目の違反 \$1,500 2度目の違反 \$2,000 3度目の違反
ルール 2.18 に基づく有効な診断書なしに CT 以外の大会への参加を怠った場合。競技に出場しないということは、優勝するまで、あるいは負けるまで競技を継続しない事も含む	プライズマネーラウンドのシード選手 \$1,000 1度目の違反 \$1,500 2度目の違反 \$2,000 3度目の違反
7日以内、または大会中に WSL リージョンオフィスに通知することで、適用される罰金の20%が軽減される (ルール 14.12 が適用される前)	プライズマネーラウンド外のシード選手 \$500 1度目の違反 \$1,000 2度目の違反 \$1,500 3度目の違反
故意にジャージの誤着用、またはジャージをビーチマーシャルへの返却前に脱いだ時	\$1,000
競技エリア内でヒート中にフリーサーフィンをした時	\$5,000
印刷、掲示された結果表の破り捨てや汚損	\$2,000
ヘッドジャッジの許可なくジャッジエリアに不満または抗議のために立ち上がった場合	\$2,000 1度目の違反 \$3,000 2度目の違反 \$5,000 3度目の違反

エントリーした CT 大会に通知はしたが、医師の診断書無しで出場しなかった場合(ワイルドカードを除く)	\$12,500 1 度目の違反 \$25,000 2 度目の違反 3 度目の違反をしたときは自動的に 3 試合出場停止、もしも残りが少ないときはシーズン内全て。この期間チャレンジャーシリーズ大会への出場もできない
エントリーした CT 大会に通知もせずに、医師の診断書も無く出場しなかった場合(ワイルドカードを除く)	\$25,000 1 度目の違反 \$50,000 2 度目の違反 3 度目の違反をしたときは自動的に 3 試合出場停止、もしも残りが少ないときはシーズン内全て。この期間チャレンジャーシリーズ大会への出場もできない
詐欺的行為 (WSL または大会に対して誤解を招くような情報を対面で、書面で、または他の形で提供することを含む)	\$5,000 1 度目の違反 \$10,000 2 度目の違反 \$20,000 3 度目の違反+自動的に 3 試合出場停止、もしも残りが少ないときはシーズン内全て。この期間チャレンジャーシリーズ大会への出場もできない
チャンピオンシップツアー競技者同意書または BW 選手同意書に関して WSL スタッフの要求に従わない場合	WSL に生じた実際の損害と損失、また今後の違反を抑止するための金額を反映した金額を加算した額とする
規約ディレクターの同意なく、このルールブックに基づき科された制裁措置について、選手がパブリックコメント(ソーシャルメディア上を含む)を行った場合	当初の制裁の 2 倍を科す
WSL アンチドーピングポリシーのもとで他の選手が検査を受けていることに関するあらゆる情報の開示(ソーシャルメディアを含む)をした場合	最低\$10,000 と 次の CT 大会からの出場停止。CT から追放をも含む
WSL から通知を受けた後、公正な競争の精神に反するとみなされる方法(規則 14.02 の対象外)でのサポートを認めるか、WSL による現在の懲罰/命令の対象となる人からのサポートを積極的に受け入れた場合	1 度目の違反、最低 \$500 から最高 \$10,000。続く(同じヒート/大会中に違反をしたとき: (i) 更なる金銭的な罰金 (ii) ヘッドジャッジとツアーマネージャーがいる場合、状況の深刻さに応じてヒートまたは大会からの失格が決定される

大会の放送やメディアインタビューでの冒瀆的な言動	\$10,000 規律ディレクターが罰金を科すかどうか考慮する
WSL が公認していないサーフィンツアーまたは大会への参加、競技、宣伝、またはいかなる形でも積極的に支援する事	\$10,000 1度目の違反 \$25,000 まで 2度目の違反 3度目の違反については規律ディレクターが決定
大会に関する WSL の安全&衛生計画への違反	\$1,000 1度目の違反 \$1,500 2度目の違反 \$10,000 3度目の違反 4度目の違反の時は、\$25,000 の罰金と規律ディレクターが決定する 1大会、またはそれ以上の出場停止処分
大会に対して直接または間接的に COVID-19 の拡散をもたらす、イベントスケジュールの調整、またはその他の WSL に対して悪影響を及ぼす、WSL の安全衛生計画に対する違反行為	\$25,000 と規律ディレクターが決定する 1大会またはそのごの大会からの出場停止処分
WSL のコンテンツ取得および使用ガイドラインに違反する行為	\$500 1度目の違反 \$1,000 2度目の違反 \$5,000 3度目の違反 4度目の違反の時は、\$10,000 の罰金と規律ディレクターが決定する 1大会、またはそれ以上の出場停止処分

14.12 大会中の失格: ルール 14.02 から 14.09 に違反した選手は、これらのルールに定める他の懲戒処分に加えて、大会中に失格の対象となる事がある。

14.13 罰金

(a) すべての金銭的な罰金は、この章またはこのルールブックの他の場所で規定されているかどうかにかかわらず、WSL 大会への出場(または出席)前に支払わなければならない。そうでない場合、罰金は、次の大会での選手の賞金から差し引かれる。大会罰金総額が、後続の大会での最低賞金額を超えている場合、違反した選手は、次の大会を主催する WSL リージョンオフィスに、大会開始日前に差額を現金で支払わなければならない。もし、罰金の支払いが大会開始日までに行われなかった場合、

その選手は大会から失格となる。

- (b) すべての金銭的な罰金は、この章またはこのルールブックの他の場所で規定されているかどうかに関わらず、現地通貨で差し引かれる。
- (c) 選手が直接支払った物も、WSL リージョンオフィスが選手の賞金から差し引いた物も、すべての罰金は WSL に転送され、このルールブックの継続的な管理のために使用されるものとする。
- d) 本章に従って科されるすべての金銭的な罰則には、以下の割合を適用する。
 - (i) CT イベント: それぞれのペナルティの 100%
 - (ii) QS 5000 以上のイベント(チャレンジャーシリーズイベントを含む) 及びビッグウェーブイベント 及びビッグウェーブ競技: それぞれのペナルティの 75%。
 - (iii) QS 5000 以下のイベント: それぞれのペナルティの 50%。
 - (iv) ワールドロングボードツアーおよびワールドジュニアチャンピオンシップ イベント: それぞれのペナルティの 75%。
 - (v) マスターズイベント : 各ペナルティの 50%
 - (vi) JQS イベント: 各ペナルティの 25%
 - (vii) LQS イベント: 各ペナルティの 25%

14.14 違反の審査と罰則の適用

- (a) 本ルールブックに違反した場合、規律委員会の協議を経て、規律ディレクターが警告、罰金、保護観察、出場停止、除名、その他の適切な命令、またはそれらの混合という形で制裁を科することができる。
- (b) 大会でこのルールブック上にある重大な違反が発生し、規律委員会とタイムリーに連絡が取れないために規律委員会の決定が下されず、大会からの即時失格がこのルールブックに従って妥当である場合、このルールブックに従って、WSL ツアーディレクターは（選手から弁明を得るために合理的な努力をし、それを考慮した上で）ヘッドジャッジと他の WSL 代表者と相談した上で、選手を大会から失格させることができる。規律ディレクターは、本ルールおよび本ルールブックに従って、早急に選手の失格を修正、承認または無効とする裁定を下す。このルールが実施された結果、選手に損害が生じたとしても、WSL はその責任を負わない。
- (c) ルール 14.13(e)に従い、規律委員会による制裁が課される前に、規律対象の個人は、規則 14.13(d)に従った書面を規律ディレクターに提出しない場合に課される規則違反と制裁を通知されるものとする。
- (d) 通知の日から 10 日以内に、違反の説明、通知で提案された制裁措置に

対する意見、該当する緩和的な状況、及び証拠資料を規律ディレクターに提出し、検討させる。本ルール 14.13(d)に基づく声明が提出されない場合、通知で提案された制裁措置は直ちに有効となる。

- (e) ルール 14.13(d)に従い声明文が提出された後、規律委員会は通知に対して提出された資料を検討し、個人に対して課される制裁を通知する。

14.15 WSL 規律ディレクターによる懲戒処分への不服申し立て

- (a) 懲戒委員会による懲戒処分に不服がある者は、制裁が確定してから 10 日以内に、懲戒ディレクターに不服申し立て書を提出しなければならない。不服申し立て書には、科された懲罰を取り消すか軽減すべき理由と、その他の救済を求める理由をすべて記載しなければならない。
- (b) 規律ディレクターが控訴の通知を受け取ってから 5 日以内に、WSL は控訴する側に 3 人の独立した仲裁人のリストを提供するものとする。不服申立人は、WSL がリストを送付してから 5 日以内に、そのリストから事件を審理する仲裁人を選択し、その選択を WSL に通知するものとする。不服申立人により仲裁人が選択されていない場合、WSL はそのケースを審理するためにリストから仲裁人を選択しなければならない。
- (c) 仲裁人の選定から 5 日以内に、WSL は上訴当事者の上訴通知に対する返答を提出しなければならない。
- (d) 控訴のための手続き規則は、問題の迅速な解決が重要であることを認識すること、および通常の司法規則が適用されないことを認識した上で、仲裁人が定めるものとする。
- (e) 仲裁人は、適切と思われる審理を設定する、または日程調整もしくは状況説明会を予定することができる。
- (f) 聴聞会は、仲裁人の指名から 45 日以内に、仲裁人の指示に従い、直接またはビデオ会議により開催されるものとする。
- (g) 聴聞会において、不服申立人は、弁護士を代理人として、証人を呼び、書類その他の関連証拠を提出する権利を有す。WSL も同様の権利を有するものとする。また不服申立人は、自費で通訳を雇うことができる。仲裁人は、証拠の許容性(宣誓供述書の形式)による証拠を認めるか否かを含み決定する。上訴当事者と WSL 代表の双方は、彼らが他の当事者によって尋問されることができるよう、聴聞会に出席しなければならない。
- (h) 仲裁人の決定において別段の定めがない限り、各当事者は、上訴に要した自己の費用および弁護士費用を負担するものとし、仲裁人の費用および経費は、当事者間で等分に分配されるものとする。

- (i) 仲裁人は、審理の日から 10 日以内に書面による決定を下すものとする。
- (j) 仲裁人の決定は、最終的なものであり、すべての当事者を拘束するものとし、上訴またはいかなる形式による司法審査も受けないものとする。

付録 A

メンズ & ウィメンズ CT 賞金分配方法

メンズ CT2022(前半戦)			
賞金		賞金合計	順位
\$80,000	1	\$80,000	1
\$45,000	1	\$45,000	2
\$25,000	2	\$50,000	3
\$16,000	4	\$64,000	5
\$13,000	8	\$104,000	9
\$10,000	16	\$160,000	17
\$9,750	4	\$39,000	33

メンズ CT2022(後半戦)			
賞金		賞金合計	順位
\$100,000	1	\$100,000	1
\$63,000	1	\$63,000	2
\$40,000	2	\$80,000	3
\$20,000	4	\$80,000	5
\$13,500	8	\$108,000	9
\$12,125	8	\$97,000	17

ウィメンズ CT2022(前半戦)			
賞金		賞金合計	順位
\$80,000	1	\$80,000	1
\$45,000	1	\$45,000	2
\$25,000	2	\$50,000	3
\$16,000	4	\$64,000	5
\$13,000	8	\$104,000	9
\$10,000	2	\$20,000	17

ウィメンズ CT2022(後半戦)			
賞金		賞金合計	順位
\$100,000	1	\$100,000	1
\$63,000	1	\$63,000	2
\$40,000	2	\$80,000	3
\$20,000	4	\$80,000	5
\$13,500	4	\$54,000	9

メンズ CT 2022 ファイナル

ウィメンズ CT 2022 ファイナル

\$200,000	1
\$100,000	2
\$75,000	3
\$60,000	4
\$40,000	5

\$200,000	1
\$100,000	2
\$75,000	3
\$60,000	4
\$40,000	5

付録 B ランキングポイント

メンズ

	CT	CS ハイ	CS	QS5000	QS3000	QS1000
ポジション	7	6	5	4	3	1
1	10000	10000	10000	5000	3000	1000
2	7800	7800	7800	3900	2340	800
3	6085	6085	6085	3042	1825	650
4	0	5685	0	2792	1675	600
5	4745	4745	4745	2282	1423	500
6	0	0	0	2145	1340	483
7	0	4545	0	2007	1258	445
8	0	0	0	0	1208	403
9	3320	3320	3320	1575	945	350
10	0	0	0	1542	904	342
11	0	0	0	1508	870	333
12	0	0	0	1474	833	314
13	0	3120	0	1440	796	295
14	0	0	0	1280	720	276
15	0	0	0	1120	640	258
16	0	0	0	960	560	239
17	1330	1900	1900	800	480	200
18	0	0	0	790	470	192
19	0	0	1700	780	460	186
20	0	0	1550	770	450	180
21	0	0	0	760	440	174
22	0	0	0	750	430	168
23	0	0	0	740	420	162
24	0	0	0	730	410	156
25	0	1700	750	720	400	150
26	0	0	0	687	375	140
27	0	0	0	654	350	130
28	0	0	0	621	325	120
29	0	0	0	588	300	110

30	0	0	0	555	275	100
31	0	0	0	522	250	90
32	0	0	0	489	225	80
33	265	700	0	450	200	66
34	0	0	0	448	197	66
35	0	0	0	445	197	66
36	0	0	0	442	196	65
37	0	0	650	439	195	65
38	0	0	0	435	194	65
39	0	0	0	431	193	64
40	0	0	0	428	191	64
41	0	0	0	425	190	63
42	0	0	0	421	188	63
43	0	0	0	418	188	63
44	0	0	0	415	186	62
45	0	0	0	412	185	62
46	0	0	0	409	184	61
47	0	0	0	406	182	61
48	0	0	0	403	181	60
49	0	600	300	400	180	60
50	0	0	0	390	178	59
51	0	0	0	385	177	59
52	0	0	0	380	176	59
53	0	0	0	375	175	58
54	0	0	0	363	173	58
55	0	0	0	355	172	57
56	0	0	0	347	171	57
57	0	0	0	339	170	57
58	0	0	0	331	169	56
59	0	0	0	323	167	56
60	0	0	0	315	166	55
61	0	0	0	307	165	55
62	0	0	0	299	164	55
63	0	0	0	291	162	54

64	0	0	0	283	161	54
65	0	300	0	275	160	53
66	0	0	0	264	158	53
67	0	0	0	262	157	52
68	0	0	0	260	156	52
69	0	0	0	258	155	52
70	0	0	0	256	154	51
71	0	0	0	254	152	51
72	0	0	0	252	151	50
73	0	250	250	250	150	50
74	0	0	0	243	146	49
75	0	0	0	237	142	47
76	0	0	0	231	139	46
77	0	0	0	230	134	45
78	0	0	0	228	131	44
79	0	0	0	227	127	42
80	0	0	0	226	124	41
81	0	0	0	225	120	40
82	0	0	0	194	116	39
83	0	0	0	187	112	37
84	0	0	0	181	109	36
85	0	0	0	175	105	35
86	0	0	0	168	101	34
87	0	0	0	162	97	32
88	0	0	0	156	94	31
89	0	0	0	150	90	30
90	0	0	0	144	86	29
91	0	0	0	138	83	28
92	0	0	0	132	79	26
93	0	0	0	126	76	25
94	0	0	0	120	72	24
95	0	0	0	114	68	23
96	0	0	0	107	64	21
97	0	0	0	100	60	20

98	0	0	0	97	58	19
99	0	0	0	93	56	19
100	0	0	0	89	53	18
101	0	0	0	85	51	17
102	0	0	0	82	49	16
103	0	0	0	78	47	16
104	0	0	0	74	44	15
105	0	0	0	70	42	14
106	0	0	0	67	40	13
107	0	0	0	63	38	13
108	0	0	0	59	35	12
109	0	0	0	55	33	11
110	0	0	0	52	31	10
111	0	0	0	48	29	10
112	0	0	0	44	26	9
113	0	0	0	40	24	8
114	0	0	0	39	23	8
115	0	0	0	38	23	8
116	0	0	0	37	22	7
117	0	0	0	30	22	7
118	0	0	0	30	21	7
119	0	0	0	30	20	7
120	0	0	0	30	20	7
121	0	0	0	30	19	6
122	0	0	0	30	19	6
123	0	0	0	30	18	6
124	0	0	0	29	17	6
125	0	0	0	28	17	6
126	0	0	0	27	16	5
127	0	0	0	26	16	5
128	0	0	0	25	15	5
129	0	0	0	24	14	5
130	0	0	0	23	14	5
131	0	0	0	22	13	4

132	0	0	0	21	13	4
133	0	0	0	20	12	4
134	0	0	0	19	11	4
135	0	0	0	18	11	4
136	0	0	0	17	10	3
137	0	0	0	16	10	3
138	0	0	0	15	9	3
139	0	0	0	14	8	3
140	0	0	0	13	8	3
141	0	0	0	12	7	2
142	0	0	0	11	7	2
143	0	0	0	10	6	2
144	0	0	0	9	5	2
145	0	0	0	8	5	2
146	0	0	0	7	4	1
147	0	0	0	6	4	1
148	0	0	0	5	3	1
149	0	0	0	4	2	1
150	0	0	0	3	2	1
151	0	0	0	2	1	1
152	0	0	0	1	1	1
153	0	0	0	1	1	1
154	0	0	0	1	1	1
155	0	0	0	1	1	1
156	0	0	0	1	1	1
157	0	0	0	1	1	1
158	0	0	0	1	1	1
159	0	0	0	1	1	1
160	0	0	0	1	1	1
161	0	0	0	1	1	1
162	0	0	0	1	1	1

ウィメンズ CT CS ハイ CS QS5000 QS3000 QS1000

ポジション	7	6	5	4	3	1
1	10000	10000	10000	5000	3000	1000
2	7800	7800	7800	3900	2340	800
3	6085	6085	6085	3042	1825	650
4	0	5685	0	2792	1675	600
5	4745	4745	4745	2282	1423	500
6	0	0	0	2145	1340	483
7	0	4545	0	2007	1258	445
8	0	0	0	1988	1208	403
9	2610	3320	3320	1575	945	350
10	0	0	0	1542	904	352
11	0	0	0	1508	870	333
12	0	0	0	1474	833	314
13	0	3120	0	1440	796	295
14	0	0	0	1280	720	276
15	0	0	0	1120	640	258
16	0	0	0	960	560	239
17	1045	1900	1900	800	480	200
18	0	0	0	790	470	192
19	0	0	0	780	460	186
20	0	0	0	770	450	180
21	0	0	0	760	440	174
22	0	0	0	750	430	168
23	0	0	0	740	420	162
24	0	0	0	730	410	156
25	0	1700	1700	720	400	150
26	0	0	0	687	375	140
27	0	0	0	654	350	130
28	0	0	0	621	325	120
29	0	0	0	588	300	110
30	0	0	0	555	275	100
31	0	0	0	522	250	90

32	0	0	0	489	225	80
33	0	700	700	450	200	66
34	0	0	0	448	197	66
35	0	0	0	445	197	66
36	0	0	0	442	196	65
37	0	0	0	439	195	65
38	0	0	0	435	194	65
39	0	0	0	431	193	64
40	0	0	0	428	191	64
41	0	650	0	425	190	63
42	0	0	0	421	188	63
43	0	0	0	418	188	63
44	0	0	0	415	186	62
45	0	0	0	412	185	62
46	0	0	0	409	184	61
47	0	0	0	406	182	61
48	0	0	0	403	181	60
49	0	0	600	400	180	60
50	0	0	0	390	178	59
51	0	0	0	385	177	59
52	0	0	0	380	176	59
53	0	0	0	375	175	58
54	0	0	0	363	173	58
55	0	0	0	355	172	57
56	0	0	0	347	171	57
57	0	0	0	339	170	57
58	0	0	0	331	169	56
59	0	0	0	323	167	56
60	0	0	0	315	166	55
61	0	0	0	307	165	55
62	0	0	0	299	164	55
63	0	0	0	291	162	54
64	0	0	0	283	161	54
65	0	0	0	275	160	53

66	0	0	0	264	158	53
67	0	0	0	262	157	52
68	0	0	0	260	156	52
69	0	0	0	258	155	52
70	0	0	0	256	154	51
71	0	0	0	254	152	51
72	0	0	0	252	151	50
73	0	0	0	250	150	50
74	0	0	0	243	146	49
75	0	0	0	237	142	47
76	0	0	0	231	139	46
77	0	0	0	230	134	45
78	0	0	0	228	131	44
79	0	0	0	227	127	42
80	0	0	0	226	124	41
81	0	0	0	225	120	40
82	0	0	0	194	116	39
83	0	0	0	187	112	37
84	0	0	0	181	109	36
85	0	0	0	175	105	35
86	0	0	0	168	101	34
87	0	0	0	162	97	32
88	0	0	0	156	94	31
89	0	0	0	150	90	30
90	0	0	0	144	86	29
91	0	0	0	138	83	28
92	0	0	0	132	79	26
93	0	0	0	126	76	25
94	0	0	0	120	72	24
95	0	0	0	114	68	23
96	0	0	0	107	64	21
97	0	0	0	100	60	20
98	0	0	0	97	58	19
99	0	0	0	93	56	19

100	0	0	0	89	53	18
101	0	0	0	85	51	17
102	0	0	0	82	49	16
103	0	0	0	78	47	16
104	0	0	0	74	44	15
105	0	0	0	70	42	14
106	0	0	0	67	40	13
107	0	0	0	63	38	13
108	0	0	0	59	35	12
109	0	0	0	55	33	11
110	0	0	0	52	31	10
111	0	0	0	48	29	10
112	0	0	0	44	26	9
113	0	0	0	40	24	8
114	0	0	0	39	23	8
115	0	0	0	38	23	8
116	0	0	0	37	22	7
117	0	0	0	30	22	7
118	0	0	0	30	21	7
119	0	0	0	30	20	7
120	0	0	0	30	20	7
121	0	0	0	30	19	6
122	0	0	0	30	19	6
123	0	0	0	30	18	6
124	0	0	0	29	17	6
125	0	0	0	28	17	6
126	0	0	0	27	16	5
127	0	0	0	26	16	5
128	0	0	0	25	15	5
129	0	0	0	24	14	5
130	0	0	0	23	14	5
131	0	0	0	22	13	4
132	0	0	0	21	13	4
133	0	0	0	20	12	4

134	0	0	0	19	11	4
135	0	0	0	18	11	4
136	0	0	0	17	10	3
137	0	0	0	16	10	3
138	0	0	0	15	9	3
139	0	0	0	14	8	3
140	0	0	0	13	8	3
141	0	0	0	12	7	2
142	0	0	0	11	7	2
143	0	0	0	10	6	2
144	0	0	0	9	5	2
145	0	0	0	8	5	2
146	0	0	0	7	4	1
147	0	0	0	6	4	1
148	0	0	0	5	3	1
149	0	0	0	4	2	1
150	0	0	0	3	2	1
151	0	0	0	2	1	1
152	0	0	0	1	1	1
153	0	0	0	1	1	1
154	0	0	0	1	1	1
155	0	0	0	1	1	1
156	0	0	0	1	1	1
157	0	0	0	1	1	1
158	0	0	0	1	1	1
159	0	0	0	1	1	1
160	0	0	0	1	1	1
161	0	0	0	1	1	1
162	0	0	0	1	1	1

付録 C

2022 QS & チャレンジャーシリーズ 大会賞金

QS またはチャレンジャーシリーズ大会のフォーマットが本ルールブックに規定されたフォーマットから変更された場合、男女の賞金額を同額にするために賞金額の調整が必要となる場合がある。

2022 年の QS 賞金額は、男女ともに QS1000 - \$10,000、QS3000 - \$30,000、QS5000 - \$50,000。リージョンは、ツアー&コンペティションオフィスの承認があれば、現地通貨で賞金を支払うことも可能。

用語解説

- \$** 米国の通貨でドルを意味する。記載されている金額はすべて税抜き。
- エアー** 選手がライド中にボードが空中に飛び出して着地、マニューバーを完成させること。
- オルタネート** 大会に出場する選手の不参加が確認された場合などに、大会に代理として参加する選手を指す。補欠。
- アマチュア** アマチュア団体の下で競技を行っている選手、または、アマチュア選手であることを自認している選手で、獲得した賞金の支払いについて特別な規定がある。
- ビーチマーシャル** 大会のディレクターによって選ばれた WSL のオフィシャルで、ヒート時間、フォーマット、大会のスケジュール、プライオリティ、競技ジャージの選択などを選手に伝える。WSL ヘッドジャッジと WSL ツアーディレクターに報告する。
- ベースシードポイント** このルールブックの関連する部分で計算された、各年の初めに選手が受け取るポイント。
- ビーチエントリー** ヒート開始前に大会会場で大会へのエントリーを希望すること。
- BW シーズン** 11 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで。
- キャディ(Caddy)** 選手が指名した人物で、競技中に選手に直接追加の用具を提供する役割を担う。WSL のルールに従って行動し、WSL からの指示に従わなければならない。選手はキャディの行動に対して責任を負い、選手がこのルールブックに基づく懲罰の対象となる可能性がある。
- コールインターフェアランス** 過半数のジャッジが、一方の選手が他方の選手の得点の可能性に影響を与える妨害をしたと判断した場合にコールすること。
- コンペティションエリア** 競技エリア。選手がスコアリングされる波を捕らえることがで

きるエリアとして、ヘッドジャッジによって正式に指定され、ブイや旗、バナーによって示されるエリアを指す。

コンペティションディレクター 大会ディレクター。SC 選手代表によって事前に承認された候補者の中から指名された者。

コンペティションマター 競技事項とは、CT、CT 大会に関するランキング、スコアリングシステム、フォーマット、クオリファイの規約、ジャッジングシステム、用具の仕様、CT 大会中の選手の安全および福祉を含む、あらゆる事項。

CT WSL が指定するチャンピオンシップツアーを意味する。

CT ランキング CT 大会又はウィメンズ CT 大会のみの選手ランキング。

CT シード 大会においてシードされる、現在 CT に登録されている選手。

CT 選手 シーズンごとの CT 大会への出場資格を得た選手。(ワイルドカードやリプレイスメントではない)

ディフェクトウェーブ そのラウンド中に WS(ウェーブシステム)が他の競技者に提供する波の大部分と比較して、明らかに劣る波。

ディシプリナリーアクション 懲戒処分。制裁、口頭での警告、書面による警告、保護観察、大会への出場停止または除名、金銭的な罰則(罰金)、非金銭的罰則、またはこれらの組み合わせ。

ディシプリンディレクター ツアー&コンペティションオフィスの責任者によって任命された人物のことで、ルール違反を調査し、第 14 章および第 15 章に定める懲罰を課す権限を有する。

ディシプリンコミティー、規律委員会。 WSL がいつでも選出することのできる、有資格者からなる委員会(ツアー&コンペティションオフィスの責任者を含むことができる)

ディシプリンバイオレーション、規律違反。 その違反が他者による意図、共謀、あるいは

は参加であるかどうかにかかわらず、このルールブックのあらゆる種類の規則違反。

ダブルインターフェアランス ジャッジがダブルインターフェアランスが適用されると判断した場合で、2 人の選手が衝突またはその他のインターフェアの責任を共有する場合。

ダブルクオリファイ CT 選手のうち、次の条件で 翌年の CT サーフィンシーズンへの参加資格を得た CT 選手を意味する。(i) 現 CT サーフィンシーズン終了時点の CT ランキングのメンズ上位 22 名でその上 QS ランキングのメンズ上位 10 名に入っている、または(ii) 現サーフィンシーズン終了時点の CT ランキングのウィメンズ上位 10 名でその上 QS ランキング上位 6 名のウィメンズ選手。

エントリーフィー 選手が WSL の大会に参加する前に、全額を支払わなければならない金銭。

イベント 大会。WSL または WSL リージョンオフィスによって実施または認可された大会を意味する。これは、WSL ツアーやスペシャリティイベントまたはメインイベントに出場するサーファーの数を決定するために行われるトライアルも含む。

イベントプランナー 大会に対して実行して欲しいことのガイドとして、毎年発行される、文書やガイドライン。

イベント会場 大会会場とは、関連するライセンス契約に記載された、大会が開催される場所を意味する。会場には、以下のものが含まれるが、これに限定されるものではない。サーフィンの競技エリア、競技エリアに隣接するすべての構造物およびインフラストラクチャー、大会の実施または管理に関連すると合理的に想定されるその他のエリア、または構造物も含む。

イベント開始日 大会開催期間の初日を指す。

イベントウィンドウ 大会開催期間。WSL スケジュールに従って大会が開始され、すべてのヒートとファイナルを完了するために割り当てられた時間。

フォースマジュアーイベント 不可抗力事象とは、当事者の合理的な管理が及ばない

行為、出来事、不作為、事故から生じる、またはそれに起因する義務の履行に影響を与える事象で、下記のものを含むが、これに限定されるものではない。

洪水、落雷、嵐、火災、爆発、地震、地盤沈下、構造的損傷、疫病、その他の自然災害または、事象、戦争、軍事行動、暴動、群集心理、テロ行為、脅迫されたテロ行為、内乱（または前述のいずれかの合理的脅威）、電源の故障または不足、機械の故障、飛行機の遅延またはキャンセル、自動車事故、労働ストライキ、ロックアウトまたはその他の労使の混乱（各場合とも選手以外の人または選手に関連する他の人による）。不可抗力事象が大会に適用される中には、WSL / イベントライセンサーが商業的、または予算上の理由で大会を実施できないことを含むが、それはWSLの独自の裁量により決定される。

ツアー&コンペティションオフィス責任者 本ルールブックに記載された権限、またはツアー&コンペティションオフィスが別途認めた権限を持ち、必要に応じてその権限を委譲できる個人を指す。

インサイドポジション 入ってくる波を予測して、ブレイクする波のピークに最も近くなるようなラインナップのポジション、そこにいる選手。

インターフェアランス ある選手が波に乗っている間、他の選手がそのスコアの可能性を最大化する能力を妨げること。

インターナショナルサーファー 大会を運営するリージョンオフィスではないリージョンオフィスに登録された選手。

ジャッジ WSL 大会でのジャッジングパネルに座る資格がある者として、WSL によって承認された個人。

ジャッジシート ジャッジが自分のスコアと記録する必要があるものを記録する紙、または電子ベースのシート。

JQS ジュニアクオリフィケーションシリーズ。

ラストシードラウンド 大会における最も高いシードを持つ選手が配置されるラウンド
ライセンス料 WSL に支払われる、大会実施の権利のためのライセンス料。

ライセンスリージョン WSL リージョンオフィスが、そのリージョンで関連する大会のライセンスを取得し、WSL の代理として行動するためにライセンスされたリージョン。

ライフメンバー ライフメンバーシップのための要件を満たしている必要があり、これは、WSL によってのみ提供される。

LQS WSL リージョンオフィスによって実施されるロングボードクオリフィケーションシリーズ。

マリブ 9 フィートより長く、ノーズが丸みを帯びているサーフボード。

マニユアルジャッジングシート WSL のジャッジが大会で選手が獲得したポイントを記録するために使用される紙ベースのシート。

ミッドシーズンカット サーフィンシーズンの半ばで男子 36 名、女子 18 名から、それぞれ 24 名、12 名に削減されること。

ミッドシーズンデート シーズン半ばの日付は、ツアー&コンペティションオフィスが指定する日付とする。

オフィスオブツアー&コンペティション ツアー&コンペティションオフィス。WSL 大会とツアーのルールと整合性を管理する権限を持つ WSL の部署。

オフィシャルエリア 大会会場内の一般の人が利用できない部分。

パーソン 選手やサポートスタッフなどを含むが、これに限定されない、このルールブックに従わなければならない個人、組織、法人など。

フォトグラファー WSL によって確立された手続きに従って、または大会メディアとして認定された、フィルム又は写真撮影を許可されたカメラマン。

プラス/マイナスシステム 大会がコンピュータスコアリングシステムを使用しない場合

に使用されるシステムで、各ジャッジが、各選手の順位を指定するシステムである。各ジャッジは、各選手に対して 1 から 4 までの順位をつける。例えばジャッジが 5 人いる場合、各選手の総合順位は互いに比較され、勝者が決定される。

プライマリーテイクオフゾーン 選手が競技エリア内でライドを開始するためのプライマリーエリアとみなされるラインナップのエリアを意味する。プライオリティジャッジによって決定される。

プライオリティアロケーション 優先順位の割り当て。プライオリティジャッジが大会のヒート中にプライオリティ順を決定すること。

プライオリティディスク エリア内のどの地点からもはっきりと見えるようにジャッジエリアに設置されたカラーキューブ(またはその他の承認された表示システム)。このディスクの目的は、どの選手が次に来る波への優先権を持っているかを示すための物。

プライオリティジャッジ 大会中にプライオリティを決定する責任を負うジャッジ。

プライオリティサーファー 他の選手(または彼らより優先順位の低い選手)よりも、無条件に波に乗る権利を持つ選手。

プライズマネー 賞金。大会において特定のラウンドに進出することにより、選手が受け取る金銭。

プライズマネーラウンド マネーラウンド。大会内で選手がその時点から賞金を受け取るラウンド。

プローンポジション サーフボードの上で腹ばいになっている状態のこと。

プロテスト 抗議。本ルールブックに基づき、事件または決定に関して正式に報告すること。

QS WSL Qualification Series の大会(Challenger Series の大会も含む)。その結果は特定の選手の QS ポイントを決定する際に考慮される。

QS ポイント 付録 B に記載されたポイントで QS/チャレンジャーシリーズ大会に出場

することによって獲得できるポイント。

QS ランキング 特定の時点で蓄積された QS ポイントから選手に提供されるランキング。

QS シードポイント 前年の最終 QS ランキングポイントと、WSL が決定するシーズン半ばまでに獲得した現在の QS ランキングポイントとの組み合わせに基づいて決定される。シーズン半ば以降は、現在の QS ランキングポイントがその選手の QS シードポイントとなる。

リージョン 地域は、WSL によって決定された特定のリージョナルオフィスが、WSL 運営に関しての管理する指定されたエリア。

リージョナルチャンピオン その前のサーフシーズンの終わりに、リージョナルランキングポイントが最も高い選手。

リージョナルオフィス それぞれのリージョンで WSL を代表して行動する実体。そのリージョンのすべての選手と、リージョナルで開催されるすべての大会に対する WSL の連絡先。詳細については、このルールブックの付録 G 参照。

リージョンランキング ルール 2.10 に従って計算されたランキング。

レギュラーシーズン CT 大会 WSL ファイナルの前に開催されるサーフィンのシーズン中に開催されるすべての CT 大会。

リプレースメントウェーブ ヘッドジャッジがウェーブシステムで生成された波に欠陥があると判断した場合、その選手に同じ方向で、同じタイプ（適用すれば）の別の波に乗る機会を与えること。

リタイアサーファー 前年度に CT に出場し、引退を希望する暦年の開始前に WSL に引退を書面で通知した選手、または死亡した選手。

ライド 選手の手がサーフボードのレールから離れる時点から、選手がボードから落ちるまで、または波から離れるまでの間。

ライトオブウェイ 選手がライディングしている波を利用して、スコアの可能性を最大

限に引き出す権利のこと。

ラン レフトとライトの波を意味する。

SC サーファー代表 WSL によって承認された候補リスト(少なくとも 3 人の選択肢を含む)から、CT 選手によって指名された代表を意味する。

シーディングベネフィット 選手が大会においてシードされることを意味し、WSL の関連する事務局ですべての要求を満たし、必要な料金を支払った場合のみ利用できる。

シードオーダー シード順位。選手がイベント中に誰と対戦するかを決定する。

スペシャルコミッティー 特別委員会とは、以下の 2 名のメンバーで構成される委員会。(1) WSL によって事前に承認された候補者リスト(少なくとも 3 人の選択肢を含む)から、CT 選手によって任命された1人の代表。
(2) WSL が承認した候補者の中から CT 選手によって任命されたコンペティションディレクター。

スペシャリティイベント 特定の WSL ツアーに属さないが、WSL が一回限りの大会として認可した大会。

スポーツマンらしい行動 以下のように定義されるが、それに限定されない。WSL ツアーと大会のスポンサー、ジャッジ、対戦相手、WSL の管理者、WSL の代表者、観客、メディアのメンバーまたその大会会場に居るすべての人々に敬意を払う。大会会場での施設、権限、運営手順を尊重する。大会会場での礼儀とマナーを守る。大会での責任感のある成熟した行動の順守。一般に認識されている軽蔑的、冒瀆的、非常に不快な、あるいは性的な行為を示唆するような目に見えるジェスチャーを控える。また、意図的なヌードの表示や露出をしない。(a)大会会場での冒瀆的または乱暴な言葉(いかなる言語でも)を使用しない。(b) WSL 大会会場での違法(例:未成年)または過度のアルコールの摂取をしない。(c)違法薬物の使用禁止。

スーペリア テイクオフの時点で各ジャッジが判断する、最も得点の期待できる方向。

サポートスタッフ コーチ、トレーナー、マネージャー、エージェント、チームスタッフ、オ

フィッシャル、メディカルまたはパラメディカルのスタッフで、選手が競技に参加するため、または競技参加の準備をするために選手に協力をしたり、治療を行う医療または、準医療関係者を示すが、これらに限定されるものではない。

サーフオフ 本ルールブックに規定された形式で、またはツアー＆コンペティションオフィスもしくはその関連する代表者によって決定された、2人以上の選手が互いに対戦するサーフィン。

サーファー 選手。大会に参加するための WSL が要求する条件を満たした個人。

サーフィンディレクター サーフィンディレクターはツアー＆コンペティションオフィスまたは、このルールブックに規定された役割と責任を負う。上記に加え、CT以外の大会では、大会ライセンスが負うべき義務については、まず、この個人を参照する必要がある。

サーファーズエリア 大会会場内で選手が独占的にアクセスできるエリアで、他の選手のサーフィンを見ながら競技の準備をする場所。

サーファー代表者 大会において選手によって指名された個人。この代表者は、本大会に参加する、または参加できる選手の間で友好的に指名される。この決定ができない場合、選手がその決定を受け入れることを条件に、最高の選手が、代表者を一方的に決定する。

サーフィンシーズン ルールが適用される、あるいは選手が出場する関連ツアーを構成するすべての大会。WSL のスケジュールは各サーフィンシーズンにどのような大会が含まれるかを示す良いガイドとなる。これは、通常暦年で行われるが、稀に例外もある。

タビュレーター 集計者。大会によって指名され、各ヒートの終了時にジャッジの手動のスコアとコンピュータのプリントアウトをチェックする人。

スローアウェイ その年のツアーで最も少ないポイントを獲得した大会。

トライアル 関連する大会に出場する選手を選抜する目的で、大会のライセンスー

またはプロモーターによって行われる競技。

ヴァーバルワーニング 口頭での警告は、違反した個人に対してその場でされる警告。WSL の代表者によって WSL ルールおよび懲戒委員会に照会するために書面で記録される。このような警告を繰り返されると、さらに懲戒処分の対象となる。

ヴェステッドインタレスト 既得権益とは、個人がこのルールブック内で行動する能力以外の個人的な利害関係(金融、商業など)を持つこと。(例:ジャッジで、選手と何らかの関連がある事業体の株主として、あるいは取締役である場合など)

VIP バーエリア 特定の場所または大会に適用される条件に従って、アルコールの消費が許可される公式エリア内のエリア。

ウェイブプールイベント 人工的に作られたプールで開催される大会で、すべて人工的な力で波が発生する。

ワイルドカード 所定のプロセスで、またはそうでない場合はこのルールブックの他の箇所所で定義されない限り、WSL の裁量で、特定の大会に対して選ばれたワイルドカードのこと。

ウィメンズワールドジュニアランキング 女子ワールドジュニアランキングとは、WSL 女子ワールドジュニアツアーの選手ランキング。

ウィメンズワールドロングボードランキング 女子ワールドロングボードランキングとは、WSL 女子ワールドロングボードツアーの選手ランキング。

ウィメンズワールドタイトル 女子ワールドタイトルとは、サーフィンシーズンを通して、WSL ウィメンズ CT 大会のみから算出される、WSL ウィメンズワールドチャンピオンになるための選手のランキングに貢献するポイント。

ウィメンズ CT 女子 CT とは、申し分のない場所で開催される、世界トップ 16 名の女性サーファーが参加できる独占的エリート大会で、その結果は WSL Women's CT ランキングと WSL Women's CT に貢献する。

ワールドチャンピオンシップツアー (「CT」と呼ぶ)とは、申し分のない場所で開催さ

れる、世界のトップ 34 名の男子サーファーが参加できる独占的エリート大会で、その結果で誰もが認める WSL 世界チャンピオンが決定される。

ワールドジュニアランキング WSL ワールドジュニアツアーによるサーファーランキングを意味する。

ワールドジュニアツアーイベント 申し分のない場所で開催される世界最高の男女のジュニアサーファーが参加する、独占的エリート大会。その結果で誰もが認める WSL ワールドジュニアチャンピオンが決定される。

WJC ワールドジュニアチャンピオンシップの略で、ワールドジュニアツアーの一部を構成することもある。

WLC ワールドロングボードチャンピオンシップツアー。

ワールドロングボードランキング、WSL ワールドロングボードツアーによるサーファーランキング。

ワールドロングボードタイトル (WLT)とは、申し分のない場所で開催される世界最高の男女のロングボードサーファーが参加する、独占的エリート大会。その結果で誰もが認める WSL ワールドロングボードチャンピオンが決定される。

WSL デラウェア州(米国)の Association of Surfing Professionals LLC のことで、ワールドサーフリーグとして、世界各地において様々な活動を行っている有限責任会社である。料金に関する WSL の特定の責任は、他の WSL リージョンに割り当てられるか、または委任される場合がある。

WSL の承認 ツアー&コンペティションオフィスの権限の下で活動する WSL の代表者によって、そのような承認が必要であることが示された活動に対して、書面で署名された承認を意味する。書面での承認は、WSL が承認している大会や活動を正確に示さなければならない。

WSL イベント代表者 各大会の関連する WSL リージョンオフィスによって指名された個人。

WSL 医療コーディネーター メディカルコーディネーターとして行動するために WSL に
よって指名され、権限を与えられた個人。

WSL 地域代表 WSL リージョンオフィスを代表して行動する権限を持つ個人を意味
する。リージョン代表の権限は、WSL リージョンオフィスと個々の間に形
成された契約によって規定される。

WSL 代表者 このルールブックまたは WSL によって締結され、採択され、または承
認された他の文書によって権限を与えられた個人を意味する。WSL の
代表者は、WSL 選手、ジャッジ、役員、イベントの従業員、そしてボラン
ティアも含む。

WSL ルール このルールブック内のルールと WSL ウェブサイト上で公開されている、
WSL によって随時更新されたものを意味する。

WSL スケジュール 日付、レーティング、ステータス、場所、およびそれぞれの大会の
それぞれに関連する他の情報をリストアップしている WSL ウェブサイトで
見られる WSL 大会のカレンダーで、それは WSL の独自の裁量で随時更
新される。

チャンピオンシップツアー選手契約 各サーフィンシーズンに適用されるすべての CT
選手によって署名された参加条件の契約であり、同じものに付随する権
利放棄や同意を含む。

WSL ツアーディレクター 選手や大会と連絡を取り合い、それぞれのツアーの大会で
の様々な義務を果たすために、WSL によって雇用された個人。例：
WSL のメンズツアーマネージャーは、WSL メンズ CT 選手に対して上記
のような責任を負っている。

WSL ツアー リプリゼンティティブ WSL ツアーディレクターによってこのルールブッ
クに従って行動するように指名された WSL 代表。

WSL ツアー CT、QS 大会、マスターズシリーズ、WLT、LQS、WJC、またはリージョ
ナルジュニアシリーズ、該当する場合はそれぞれ男女を含む。

WSL ウェブサイト www.worldsurfleague.com

WSL ワイルドカード ツアー&コンペティションオフィスによって選出された選手で、サーフィンシーズンのそのツアーにおける大会にワイルドカードとしてエントリーし、競技する。